【図表1】ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界版2018

順位	区分	教育機関
46	国	東京大学
=74	国	京都大学
201-250	国	大阪大学
201-250	国	東北大学
251-300	国	東京工業大学
301-350	国	名古屋大学
351-400	国	九州大学
401-500	国	北海道大学
401-500	国	東京医科歯科大学
401-500	国	筑波大学
501-600	私	藤田保健衛生大学
501-600	公	首都大学東京
601-800	公	会津大学
601-800	国	千葉大学
601-800	国	広島大学
601-800	私	順天堂大学
601-800	国	香川大学
601-800	国	金沢大学
601-800	私	慶應義塾大学
601-800	国	神戸大学
601-800	国	高知大学
601-800	国	熊本大学
601-800	公	名古屋市立大学
601-800	国	岡山大学
601-800	公	大阪市立大学
601-800	国	東京農工大学
601-800	私	東京理科大学
601-800	私	早稲田大学
601-800	公	横浜市立大学
801-1000	私	中央大学
801-1000	国	愛媛大学
801-1000	国	電気通信大学
801-1000	国	岐阜大学
801-1000	国	浜松医科大学
801-1000	私	法政大学
801-1000	国	岩手大学
801-1000	私	東京慈恵会医科大学
801-1000	国	鹿児島大学
801-1000	私	関西医科大学
801-1000	私	近畿大学
801-1000	私	北里大学
801-1000	国	京都工芸繊維大学
801-1000	国	九州工業大学
801-1000	私	明治大学
801-1000	国	三重大学
801-1000	国	宮崎大学
801-1000	国	長岡技術科学大学
801-1000	国	長崎大学
801-1000	国	名古屋工業大学
801-1000	公	奈良県立医科大学
801-1000	国	新潟大学
801-1000	公	大阪府立大学
801-1000	私	立命館大学
801-1000	国	佐賀大学
801-1000	国	埼玉大学
801-1000	私	埼玉医科大学
801-1000	国	滋賀医科大学
801-1000	国	島根大学
801-1000	国	信州大学
801-1000	国	静岡大学
801-1000	私	昭和大学
801-1000	私	上智大学
801-1000	私	東海大学
801-1000	国	徳島大学
801-1000	国	東京海洋大学
801-1000	国	富山大学
801-1000	国	豊橋技術科学大学
801-1000	国	山形大学
801-1000	国	山口大学
801-1000	国	山梨大学
801-1000	国	横浜国立大学

ほか「1001+位」に18大学がランクイン

アジア版2018

順位	区分	教育機関
8	国	東京大学
11	国	京都大学
28	国	大阪大学
30	国	東北大学
33	国	東京工業大学
35	国	名古屋大学
=48	国	九州大学
=55	国	北海道大学
=60	国	東京医科歯科大学
63	国	筑波大学
=83	私	藤田保健衛生大学
=104	公	首都大学東京
109	国	広島大学
=127	私	慶應義塾大学
131	公	会津大学
134	国	千葉大学
=135	私	早稲田大学
=149	国	金沢大学
=149	国	神戸大学
=151	私	順天堂大学
153	国	東京農工大学
=168	国	岡山大学
=171	公	名古屋市立大学
=173	公	横浜市立大学
=175	国	香川大学
=175	私	東京理科大学
=182	国	高知大学
184	国	熊本大学
=185	公	大阪市立大学
=194	国	徳島大学
=200	国	横浜国立大学
201-250	国	電気通信大学
201-250	私	東京慈恵会医科大学
201-250	私	関西医科大学
201-250	私	近畿大学
201-250	国	長崎大学
201-250	国	名古屋工業大学
201-250	国	新潟大学
201-250	国	埼玉大学
201-250	国	滋賀医科大学
201-250	国	信州大学
201-250	国	豊橋技術科学大学
201-250	国	山形大学
201-250	国	山梨大学
251-300	私	中央大学
251-300	国	愛媛大学
251-300	国	岐阜大学
251-300	国	浜松医科大学
251-300	私	法政大学
251-300	国	岩手大学
251-300	国	鹿児島大学
251-300	私	北里大学
251-300	国	京都工芸繊維大学
251-300	国	九州工業大学
251-300	私	明治大学
251-300	国	三重大学
251-300	国	宮崎大学
251-300	国	長岡技術科学大学
251-300	公	奈良県立医科大学
251-300	公	大阪府立大学
251-300	国	佐賀大学
251-300	私	埼玉医科大学
251-300	国	島根大学
251-300	国	静岡大学
251-300	私	昭和大学
251-300	私	上智大学
251-300	私	東海大学
251-300	国	東京海洋大学
251-300	国	富山大学
251-300	国	山口大学

ほか「301-351+位」に19大学がランクイン

日本版2018

順位	区分	教育機関
=1	国	京都大学
=1	国	東京大学
3	国	東北大学
4	国	東京工業大学
5	国	九州大学
6	国	北海道大学
7	国	名古屋大学
8	国	大阪大学
9	国	筑波大学
10	私	慶應義塾大学
11	私	早稲田大学
12	公	国際教養大学★
13	国	広島大学
14	国	一橋大学★
15	私	上智大学
16	私	国際基督教大学★
17	国	東京外国語大学★
18	国	神戸大学
19	国	千葉大学
20	国	金沢大学
=21	国	長岡技術科学大学
=21	私	立命館アジア太平洋大学★
23	私	立命館大学
24	国	九州工業大学
=25	国	岡山大学
=25	国	横浜国立大学
27	私	立教大学★
28	私	同志社大学
29	国	東京農工大学
30	私	東京理科大学
31	私	関西学院大学
32	国	お茶の水女子大学★
33	私	神田外語大学★
34	公	会津大学
35	私	明治大学
=36	国	熊本大学
=36	公	首都大学東京
38	国	豊橋技術科学大学
=39	国	東京医科歯科大学
=39	国	山口大学
41	国	東京海洋大学
42	国	京都工芸繊維大学
=43	国	長崎大学
=43	公	大阪市立大学
45	私	関西大学
46	公	横浜市立大学
47	国	山形大学
48	私	芝浦工業大学
49	私	近畿大学
50	私	青山学院大学★
=51	私	中央大学
=51	国	新潟大学
53	私	法政大学
54	国	信州大学
=55	国	電気通信大学
=55	私	津田塾大学★
57	国	福井大学
58	国	秋田大学
59	国	名古屋工業大学
60	私	南山大学★
61	私	学習院大学★
62	公	福岡女子大学★
63	国	佐賀大学
64	国	群馬大学★
65	公	大阪府立大学
66	私	東洋大学
67	国	宇都宮大学
=68	国	鹿児島大学
=68	私	豊田工業大学★
70	国	埼玉大学
71	国	茨城大学

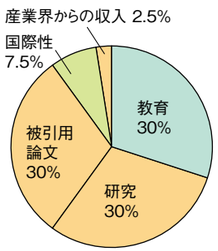
ほか「72-150位」に80大学がランクイン

国立大学
公立大学
私立大学

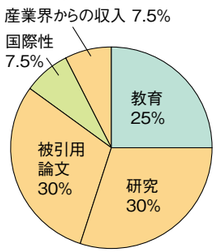
＊「★」は日本版のみにランクインしている大学
＊「=」は同順位の大学あり
＊同ランクでの掲載順は
原則大学名の英語表記のアルファベット順

各ランキングの分野と割合

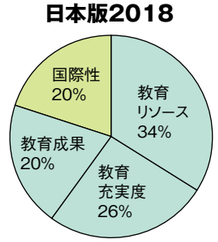
世界版2018



アジア版2018



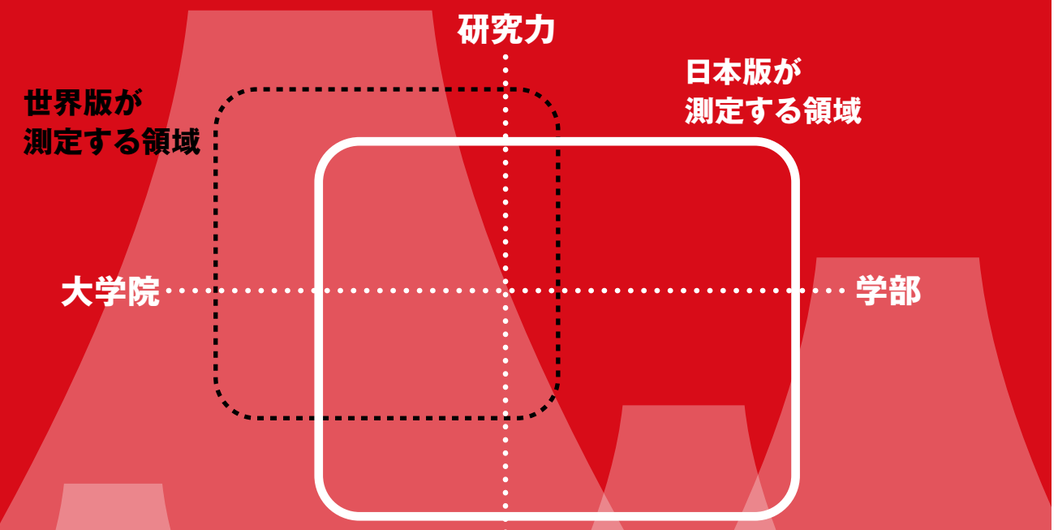
日本版2018



＊分野内の指標の内訳はランキングにより異なる場合があります。

多様性と特色化を促す 日本大学ランキング

Japan University Rankings



2018年3月末に発表された、Times Higher Education（THE）の世界大学ランキング日本版。
初顔見せとなった前年は、発表直後から大学、高校をはじめ社会に大きな話題を呼んだ。
2年目となる今回のランキング結果、前年からの変化、活用法などについて解説する。

Report THE世界大学ランキング日本版2018 結果分析

「教育力」にフォーカスした日本ならではのランキング

文／児山雄介

日本の大学の魅力や、大学に対する新たな見方を、国内外に向けてわかりやすく表現するという意図の下、THE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）は2017年に誕生した。主に「学部」の「教育力」が対象領域となっており、「大学院」の「研究力」が重視される世界版やアジア版とは対照的だ。世界版、アジア版ランキングの指標については、「教育力」の割合は30％以下。対して日本版は、80％を占めている。

ランクインの顔ぶれにも違いがある。P.3の日本版のランキング表で「★」のついた大学は日本版のみに登場する大学だ。国際教養大学（12位）のようなリベラルアーツカレッジ、一橋大学（14位）のような人文社会系の単科大学、ほか外語大や女子大など、日本版ではより多彩な大学が入っている。

こうした日本ならではの大学の多様性を表すランキングが、年間12億人が訪れるTHEの公式サイトで発表され、全世界が注目している。その影響力を自学の多様化・特色化にどのように生かしていくべきか。すでにこの1年で、多くの大学が検討を進めている。

THE世界大学ランキング日本版2018

指標解説と分野別ランキング

ランキング指標を構成するのは、4つの分野の13項目だ。指標の内容、前年からの変更点、結果の注目点を解説する。

「教育リソース」「教育成果」「国際性」の項目や割合を変更

THE世界大学ランキングは、ポータルサイトで必要なデータを入力し提出するエントリー制である。そのうえで左の条件に該当する大学は除外している。日本の教育事情をよく知るベネッセグループが情報収集等を支援し、データの収集・集計プロセスは*1PWCの監査を受けている。

4つの指標についてはより実態に則したものにするため一部変更されている。これは各大学の意見、文部科学省や大学IR総研とTHEとの議論（P.8）がふまえられてのものだ。

【除外条件】
※前提として、THEのデータコレクション・ポータルサイトにデータを入力し、提出したうえで、
▼必要なデータが入力されていない大学
▼「認証評価」を受けていない大学

「教育リソース」は、充実した教育が行われている可能性を示す。さまざまな教育活動の土台となる分野であるため、4分野のうち最も比重が大きい。大学の規模に左右されやすい、「学生一人あたりの資金」「教員一人あたりの競争的資金獲得数」の割合が各2ポイント減となり、割合は前年の38％から34％に減少した。

「教育充実度」は、高校の進路指導教員への評判調査をもとに、教育に対する期待の実現度を示す。高校教員は自ら大学の情報を調べるだけでなく、大学に進学した卒業生から実態の情報を得ているため、全体の26％と比重が大きくなっている。前年同様全高校の半数弱から回答を集め、2か年分の結果を使用している。

日本版2018の指標

分野 Pillars	項目 Metrics	割合*2		対象年	データ元	備考
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金（経常収入/在籍学生数）	8%（10%）	34%（38%）	2016年	大学入力情報	
	学生一人あたりの教員比率（教員数/在籍学生数）	8%		2016年	大学入力情報	
	教員一人あたりの論文数（論文数/教員数）	7%		2012-16年	エルゼビア社	ScopusよりTHEが抽出
	大学合格者の学力	6%		2016年	ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数（大学別の獲得件数/専任教員数）	5%（7%）		2016年	大学入力情報	
教育充実度 Engagement	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	13%	26%	2016･17年	ベネッセ	2017年調査対象：日本の高校の進路指導教員。調査書発送校数:5479校*3、回答校数は2415校（全体の約90%の大学名が挙がっている。特定の地域に有利・不利が出ない集計）※2017年、2016年の結果の2か年分を使用
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	13%		2016･17年	ベネッセ	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	10%（7%）	20%	2017年	日経HR	調査対象：2017年2月現在の全上場企業4701社（ジャスダック等新興市場含む、外国企業は除く）と有力未上場企業847社　調査項目：過去2年間の新卒採用実績上位10大学について、学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
	研究者の評判調査	10%（13%）		2016･17年	THE世界大学ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
国際性 Environment	外国人学生比率（在籍外国人学生数/在籍学生数）	5%（8%）	20%（16%）	2016年	大学入力情報	
	外国人教員比率（在籍外国人教員数/教員数）	5%（8%）		2016年	大学入力情報	
	日本人学生の留学比率（留学者数/在籍学生数）	5%（0%）		2016年	大学入力情報	
	外国語で行われている講座の比率（外国語で行われている講座数/全講座数）	5%（0%）		2016年	大学入力情報	

*1　PricewaterhouseCoopers。世界の4大会計事務所の1つ
*2　（）内は前年度の%（変更があった指標のみ表示）
*3　複数の科やコースを設置している高校には、調査書を複数枚送付した場合もある

【図表2】分野別ランキングTOP20

国立大学　公立大学　私立大学

＊［=］：同順位の大学あり
＊［-］：総合順位・スコアが151位以下を示す

教育リソース

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	2	国	東京大学	85.4	=1
2	3	国	京都大学	84.7	=1
3	4	国	東北大学	83.4	3
4	1	国	東京医科歯科大学	82.5	=39
5	5	国	浜松医科大学	81.2	141-150
6	12	国	滋賀医科大学	79.7	141-150
7	13	私	兵庫医科大学	79.6	-
8	-	私	東京医科大学	79.5	-
9	10	公	札幌医科大学	78.6	141-150
10	8	国	大阪大学	77.9	8
11	6	国	東京工業大学	77.6	4
12	7	私	豊田工業大学	76.7	=68
13	15	国	旭川医科大学	76.4	-
14	19	私	日本医科大学	76.3	-
15	14	公	奈良県立医科大学	76.1	-
16	18	公	福島県立医科大学	75.8	141-150
17	16	国	北海道大学	75.3	6
18	20	国	筑波大学	75.0	9
19	11	国	九州大学	74.8	5
20	17	私	大阪医科大学	74.3	-

教育充実度

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	1	公	国際教養大学	99.8	12
2	2	国	東京大学	99.7	=1
=3	=3	国	京都大学	99.6	=1
=3	=3	国	東北大学	99.6	3
5	5	私	早稲田大学	99.2	11
6	6	私	慶應義塾大学	99.1	10
7	7	国	筑波大学	98.6	9
8	8	国	大阪大学	98.5	8
9	=10	国	九州大学	98.4	5
=10	9	国	東京工業大学	98.1	4
=10	=10	私	国際基督教大学	98.1	16
=12	13	国	名古屋大学	97.7	7
=12	12	私	上智大学	97.7	15
=12	14	私	明治大学	97.7	35
15	15	国	北海道大学	97.4	6
16	17	国	広島大学	97.1	13
17	16	国	一橋大学	96.6	14
18	18	私	同志社大学	96.3	28
19	-	私	立教大学	96.2	27
20	19	私	立命館大学	96.0	23

教育成果

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	1	国	東京大学	98.9	=1
2	=2	国	京都大学	98.6	=1
3	9	国	九州大学	97.7	5
4	5	私	慶應義塾大学	97.2	10
=5	4	国	東北大学	95.6	3
=5	6	国	名古屋大学	95.6	7
7	=2	国	大阪大学	95.4	8
8	8	国	北海道大学	94.8	6
9	7	国	東京工業大学	94.7	4
10	10	私	早稲田大学	93.8	11
11	11	国	一橋大学	89.1	14
12	12	国	筑波大学	88.1	9
13	14	国	広島大学	76.6	13
14	15	私	東京理科大学	73.2	30
15	25	国	横浜国立大学	72.9	=25
16	16	国	千葉大学	72.0	19
17	22	公	国際教養大学	70.6	12
18	23	国	東京農工大学	69.6	29
19	18	私	上智大学	69.4	15
20	13	国	神戸大学	69.3	18

国際性

2018順位	2017順位	区分	教育機関	スコア	総合順位
1	13	公	国際教養大学	100.0	12
2	1	私	立命館アジア太平洋大学	98.9	=21
3	9	私	国際基督教大学	96.8	16
4	6	国	東京外国語大学	91.5	17
5	5	私	上智大学	90.9	15
6	20	私	京都外国語大学	90.1	92
7	=28	私	名古屋商科大学	85.7	111-120
8	-	私	名古屋外国語大学	84.5	=100
9	3	私	東京国際大学	84.0	-
10	-	公	神戸市外国語大学	83.3	83
11	101-110	私	宮崎国際大学	82.4	131-140
12	4	私	麗澤大学	80.6	121-130
13	-	私	城西国際大学	78.6	-
14	7	公	福岡女子大学	77.3	62
15	19	私	神田外語大学	76.0	33
16	2	私	大阪経済法科大学	74.8	-
17	45	国	東京工業大学	74.1	4
18	-	私	立教大学	73.9	27
19	=17	私	早稲田大学	73.6	11
=20	25	国	長岡技術科学大学	73.3	=21
=20	53	私	創価大学	73.3	121-130

＊同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

「教育成果」は、卒業生の企業での活躍や教育に対する評判を表す。「企業人事の評判調査」は、卒業生が企業でどれだけ活躍しているかなどの調査項目を追加し、調査対象に一部有力未上場企業を加えた。大学からの「教育力を測るなら就職力を重視してほしい」という要望に応えて割合を3ポイント増やし、「研究者の評判調査」と同じ重みになった。

「国際性」は、国際的な環境の実現度を示す。「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」が追加され、分野の割合は16％から20％に増加した。

初の学生調査を実施 他国と比較検討中

指標には含まれなかったが、大学生への調査が初めて行われた。11の質問項目に各0～10点をつける形式で、日本独自の質問のほか、アメリカ版、西ヨーロッパ版（7月発表予定）と共通の質問が含まれている。THEは4月現在、それらの国・地域と回答を比較できるかを検討中だ。実現すれば、例えば日本に留学を希望する学生が、「自国の○○大学に似たタイプの大学は日本ではどこか」といった観点で留学先を探せる。

長期的視点で取り組み 教育環境を整備する

「学生一人あたりの資金」「教員一人あたりの競争的資金獲得数」の割合が前年より各2ポイント下がり、資金力、研究力の影響がやや小さくなった。

とはいえ上位の大学には、資金力を生かして学生に対して手厚い教育環境を整えているところが多い。国からの補助が相対的に厚い国立大（特に医学部を持つ大学）や、医療系私立大のスコアが高くなる傾向にある。総合順位ではランク外ながら、この分野で実力を発揮している大学も少なくない。

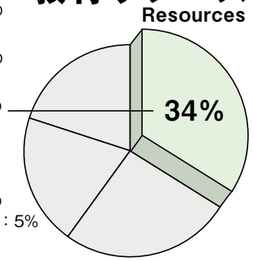
医療系の学部を持っていない大学としては、**東京工業大学、会津大学、秋田県立大学、石川県立大学、豊田工業大学**が設置区分別のTOP10入りしている。注目に値すると言えるだろう。

もちろん、いくらリソースが豊富でも、教育施策のさらなる改善や学生の成長につながっていなければ意味がない。長期的視点ではリソースを増やし、学生の教育環境を整える努力を継続しつつも、短期的には、今あるリソースでどれだけ効果的な教育を実現できるか、パフォーマンスを追求する姿勢が必要だ。

設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	85.4	1	札幌医科大学	78.6	1	兵庫医科大学	79.6
2	京都大学	84.7	2	奈良県立医科大学	76.1	2	東京医科大学	79.5
3	東北大学	83.4	3	福島県立医科大学	75.8	3	豊田工業大学	76.7
4	東京医科歯科大学	82.5	4	名古屋市立大学	67.6	4	日本医科大学	76.3
5	浜松医科大学	81.2	5	横浜市立大学	67.5	5	大阪医科大学	74.3
6	滋賀医科大学	79.7	6	大阪府立大学	65.0	6	愛知医科大学	73.8
7	大阪大学	77.9	7	大阪市立大学	64.9	7	関西医科大学	73.2
8	東京工業大学	77.6	8	会津大学	64.8	8	聖マリアンナ医科大学	72.3
9	旭川医科大学	76.4	9	秋田県立大学	60.8	9	東京慈恵会医科大学	71.3
10	北海道大学	75.3	10	石川県立大学	60.3	10	金沢医科大学	70.7

教育リソース Resources



ステークホルダーへのアピールも欠かせない

4分野のうち唯一、項目もその割合も前年と変わらない分野だ。ランクイン大学の顔ぶれも前年と大きくは変わらないが、日本版に初めて登場した大学である**高知工科大学、静岡県立大学、神戸市外国語大学、立教大学**が各設置区分別のTOP10入りを果たした。

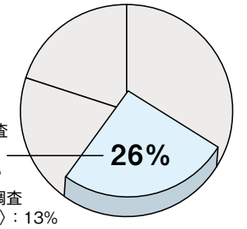
国立大、私立大間でのスコアの差はほとんど見られない。教育リソースでは国立大のスコアが高かったことを考え合わせると、私立大のパフォーマンスのよさがうかがえる。私立大の11位以降を見ていくと、**神田外語大学**（私立15位）、**金沢工業大学**（同18位）、**津田塾大学**（同21位）など、中規模以下の大学や、入試難易度が高くはない大学名も数多く挙がってくる。規模の大きさや入試難易度が上位ではなくても、教育充実度を高められることがわかる。

いずれの大学にとっても常に向上をめざすべき分野ではあるが、すでに充実した取り組みを行っていても、それを適切に広報しなければ高校生や保護者の認知度は上がらない。教育力を可視化する広報手段の一つとして、ランキングを活用することも考えたい。

設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	99.7	1	国際教養大学	99.8	1	早稲田大学	99.2
=2	京都大学	99.6	2	会津大学	87.0	2	慶應義塾大学	99.1
=2	東北大学	99.6	3	北九州市立大学	84.2	3	国際基督教大学	98.1
4	筑波大学	98.6	4	首都大学東京	81.1	=4	上智大学	97.7
5	大阪大学	98.5	5	都留文科大学	75.2	=4	明治大学	97.7
6	九州大学	98.4	6	福岡女子大学	74.8	6	同志社大学	96.3
7	東京工業大学	98.1	7	高知工科大学	69.7	7	立教大学	96.2
8	名古屋大学	97.7	8	高崎経済大学	68.4	8	立命館大学	96.0
9	北海道大学	97.4	9	静岡県立大学	67.5	9	立命館アジア太平洋大学	94.9
10	広島大学	97.1	10	神戸市外国語大学	65.7	10	東京理科大学	94.4

教育充実度 Engagement



産業界との連携を強め 社会で必要な力を育成

前年の割合と比べると、「企業人事の評判調査」の割合が3ポイント加算され、「研究者の評判調査」の割合が3ポイント減少。この変化に各大学の努力が加わり、スコアを大きくアップさせた大学がめだった。

国立大では**東京外国語大学**（スコア9・8上昇）、**電気通信大学**（同9・2）など、公立大では**大阪府立大学**（同8・5）など、私立大では**甲南大学**（同8・9）、**北里大学**（同8・9）などがその例だ。就職力の強さに定評のある大学名が並んでおり、企業における卒業生の活躍が前回以上にスコアに反映されていることがうかがえる。

他方、旧帝大をはじめ、理工系の研究力を強みに研究者からの評判を得ている大学も、依然上位にランクインしている。

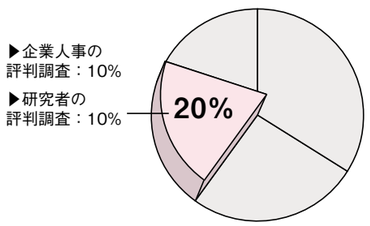
スコアを高めるには、これからの社会で求められる人材や能力を見極め、その養成に産学協働で取り組むことだろう。特に就職力については、努力が比較的反映されやすい。コンピテンシーを養成し、企業から認められたうえで、そのイメージを世間に届けるための広報力が求められる。

設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	98.9	1	国際教養大学	70.6	1	慶應義塾大学	97.2
2	京都大学	98.6	2	大阪府立大学	68.3	2	早稲田大学	93.8
3	九州大学	97.7	3	首都大学東京	65.3	3	東京理科大学	73.2
=4	東北大学	95.6	4	大阪市立大学	64.8	4	上智大学	69.4
=4	名古屋大学	95.6	5	名古屋市立大学	61.4	5	立命館大学	66.9
6	大阪大学	95.4	6	横浜市立大学	58.4	6	同志社大学	64.9
7	北海道大学	94.8	7	福井県立大学	57.8	7	甲南大学	64.8
8	東京工業大学	94.7	8	秋田県立大学	49.9	8	明治大学	64.1
9	一橋大学	89.1	9	滋賀県立大学	48.7	9	北里大学	62.7
10	筑波大学	88.1	10	兵庫県立大学	48.6	10	中央大学	62.0

＊同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

教育成果 Outcomes



海外ネットワークを広げ 送り出し、受け入れを拡充

「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」が項目に加わり、国際化の進展がより多面的に測られるようになった。その影響に各大学の取り組みが重なり、スコアの変動が大きくなった。

国立大では**東京医科歯科大学**（スコア21・4上昇）、公立大は**国際教養大学**（同25・6）、私立大は**宮崎国際大学**（同32・4）などの上昇幅が大きい。**東京医科歯科大学**はグローバル人材育成プログラムを複数設け、豊かな国際経験を持つスタッフを抱えている。また、**宮崎国際大学**の国際教養学部は、全員必修の英語で行う海外研修、教員の8割が外国人などの特徴的な取り組みが明確にスコアに反映された形だ。

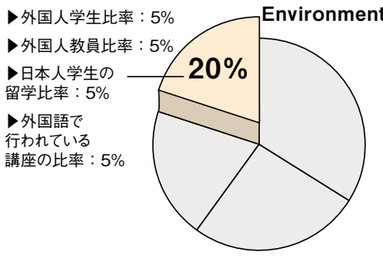
割合は前年より減ったが、外国人学生・教員の比率を上げるなど学内の国際的な環境を整える努力も大切だ。THEによると、世界の留学生数は2000年から2014年にかけて約2倍に増え、3000万人市場となっている。留学生獲得競争に打ち勝つ武器として、日本版のスコアの広報活用も検討してみるとよいだろう。

設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	91.5	1	国際教養大学	100.0	1	立命館アジア太平洋大学	98.9
2	東京工業大学	74.1	2	神戸市外国語大学	83.3	2	国際基督教大学	96.8
3	長岡技術科学大学	73.3	3	福岡女子大学	77.3	3	上智大学	90.9
4	一橋大学	73.2	4	会津大学	72.4	4	京都外国語大学	90.1
5	東京医科歯科大学	72.7	5	新潟県立大学	65.1	5	名古屋商科大学	85.7
6	九州大学	72.2	6	群馬県立女子大学	59.6	6	名古屋外国語大学	84.5
=7	北海道大学	67.4	7	宮崎公立大学	58.7	7	東京国際大学	84.0
=7	名古屋大学	67.4	8	愛知県立大学	56.7	8	宮崎国際大学	82.4
9	京都大学	66.3	9	横浜市立大学	51.3	9	麗澤大学	80.6
10	東京大学	65.0	10	長崎県立大学	50.4	10	城西国際大学	78.6

＊同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています

国際性 Environment



Opinion

日本の大学の多様化、特色化を促すには？

「入学校歴社会」から真の「学修歴社会」へ。アジア市場の開拓に好機

文部科学大臣補佐官　**鈴木寛**

すずきかん●東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。慶應義塾大学助教授、参議院議員、文部科学副大臣などを経て2014年2月から東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授。2015年2月から現職。

国際競争力を表すTHE大学ランキング

前年9月に発表されたTHE世界大学ランキング2018では、日本の大学のランクイン校数は89校と、1年で20校増加しました。ランクイン校数世界第3位の大学大国となったのは、各大学の改革のたまものとしか言えません。第2位のイギリスを次回は抜くこの勢いを、他国は脅威に感じているはずです。各大学におかれては、これまでの取り組みに自信を持っていただきたいと思います。

*大学IR総研の調査によると、THE世界大学ランキングは、ほかの世界大学ランキングと比べて参考にしている大学が多いという調査結果が出ています【図表1】。私たち文部科学省は、THEが主催する世界学術サミット2017に参加して、このTHE世界大学ランキングを運営するTES Globalと議論すると同時に、日本の大学から寄せられた要望を提案してきました【図表2、3】。中国やシンガポールはすでにTHEとコミュニケーションをとり、国際競争力を上げてきています。日本でも産官学の定期的な会合を開くなど、継続的に取り組んでいきます。

資源を集めるための新たなネットワークを

大学経営は今、正念場を迎えています。少子化の影響で授業料、受験料、運営費交付金、私学助成金が総額として減少しています。子どもがいる世帯自体が全世帯の2割程度という現実があり、運営費交付金、私学助成金の増額は民意を得るのが難しい状況です。経済界からも、高等教育は投資に値するのかという疑問が投げかけられています。

今こそ、大学の収支構造を組み替えるチャンスです。交付金、助成金だけに頼らず、海外の学生、企業、政府、また国内の企業、地方自治体などの新しいステークホルダーと連携し、社会資源を集める構造をつくる時機ではないでしょうか。こうした新たなステークホルダーに自学の特徴を説明する材料として、外部機関のランキングデータは適していると言えるでしょう。

国際性の高さ＝その大学の成長可能性

日本の社会では依然、個人を評価する際、最初に入学した大学の入試難易度が重視されます。しかし、本来重要なのは、「何を学び、何を得たか」です。文部科学省は、「入学校歴社会から、真の学修歴社会へ」と社会のマインド転換を図ります。

突破口は、社会人の学びです。「人生100年時代」と言われる今後は、働きながらも学び続ける時代です。1人が一生のうちに3回大学に行く社会になれば、2、3回目は入試難易度ではなく、「大学で何を学ぶのか」を重要視するはずです。

これを、まず海外から推進します。外国人は大学の中身を見て入学先を判断します。他の先進国と比べれば圧倒的に学費が安く、多くの大学が世界ランキングにランクインしている日本で学ぶことは、コストパフォーマンスに優れていると言えます。加えて日本では大学設置・学校法人審議会が教員一人ひとりの資格を審査しており、高い教育・研究レベルが保証されています。

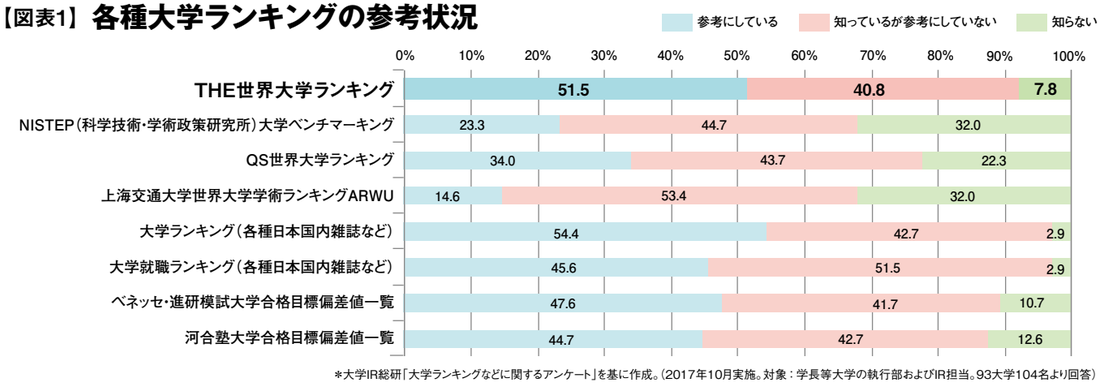
特にアジアは高等教育へのニーズが劇的に高まる反面、一部のトップ校を除くと大学の質が量の増加に追い付いていません。これまでアジアの留学生受け入れはコスト高となる場合もありましたが、今では支払い能力が十分に高まっています。日本はその受け入れ先に名乗りを上げる絶好の機会です。

アジアにおける日本の大学の立ち位置、日本人の入学者が確実に減少していく未来を考えると、どの大学も「グローバル化や国際化は関係ない」という認識ではいられないでしょう。外国人学生が増え、グローバル環境が充実することは、日本人学生にとってもメリットとなります。

今や国際性こそが、「大学の成長可能性」を表すと言っても過言ではありません。世界大学ランキングのような国際標準のデータを大いに活用して、海外市場を視野に入れた教育・経営改革を進めていただくことを願います。

文／児山雄介　撮影／御堂義乗

【図表1】各種大学ランキングの参考状況



＊大学IR総研「大学ランキングなどに関する アンケート」を基に作成。（2017年10月実施。対象：学長等大学の執行部およびIR担当。93大学104名より回答）

【図表2】世界学術サミット2017の様子

開催日時 2017年9月3～5日

開催地
キングス・カレッジ・ロンドン（イギリス）

参加者 世界各国の大学教職員、政府関係者、企業関係者など50か国、540人以上

プログラム内容 世界大学ランキング発表、パネルディスカッション、分科会など。プログラム間に、参加者間での人脈構築・情報収集が盛んに行われる。

【図表3】THEに提案した日本の大学からの要望

- マスメディアや専門家を対象とした説明会やワークショップの開催
- ランキング掲載サイトの大学個別ページにランキング算出方法を併記
- 設置区分（国立／公立／私立）別のランキングの作成
- 学生にとってのコストパフォーマンス（学費等）を指標に加える
- 「世界学術サミット」の分科会を開催　など

＊一般財団法人大学IR総研（理事長：佐藤禎一）。THEへの提言の詳細はサイト上で確認できる。https://iru.or.jp/

Opinion

日本の大学の多様化、特色化を促すには？

TES Global
データ・解析
ディレクター
Duncan Ross

ダンカン・ロス●世界大学ランキング・国別ランキング設計の責任者。DataKind UKの理事会の議長を務め、政府の公開データを活用し、非営利組織全体の大規模なデータの利用を推進している。

日本の大学には留学に適した条件がそろっている

世界の高等教育政策は熱気を帯びつつある

世界は高等教育の重要性を再認識し始めています。ロシアでは「2020年までに5校以上を世界大学ランキングTOP100に入れよ」との大統領令が出されました。ドイツではGDPの3・5%を研究に投じる合意がなされています。このような状況の中、THE世界大学ランキング2018（以下、世界版）で89校もの日本の大学がランクインした結果は大きなインパクトがありました。下の図表は、前年10月に発表した世界版学問系統別ランキングです。日本からはのべ100もの大学が多様な系統にランクインしています。

しかし、世界版に登場する大学は日本の大学の一部。私たちが教育力重視の日本版ランキングを作るのは、日本の大学の多様性と優れた点をどうしたら世界にアピールできるかを考えた結果です。

今回の日本版ランキングも前回同様全体としてスコアは僅差であり、各大学が高いレベルで競い合っています。分野ごとに見ると、国立大学が強い分野（教育リソース）、私立大学が強い分野（国際性）、国立大学にも優れた大学が少なくない分野（教育充実度、教育成果）と、それぞれ特色が出ています。

学生の輸入大国になる条件を備えた日本

日本の大学は外国人留学生の確保に苦労していると聞きますが、教育・研究の質が高い割に学費が安く治安もよいなど、外国人にとって留学に適した条件がそろっています。

外国で学ぶ学生が世界的に年々増える中、アメリカは反移民政策を取り始め、イギリスはEUを離脱し外国人受け入れに消極的。日本は、学生の輸入大国になり得ます。ぜひ、海外のマーケットへと目を向けてこのチャンスを生かしてください。THEでも、本年9月にシンガポールで世界学術サミットを開催し、皆さんが他国の大学とネットワークを広げる機会を提供したいと思います。

世界版学問系統別ランキング（2018）の日本の大学ランクイン数

学問系統	大学数	大学（順位）
芸術・人文科学	4	東京大（45）、京都大（100）、名古屋大（251-300）、早稲田大（251-300）
社会科学	6	東京大（40）、京都大（101-125）、名古屋大（126-150）、東京工業大（201-250）、北海道大（301-400）、筑波大（301-400）
医学・健康科学	26	東京大（32）、京都大（40）、大阪大（92）、東京医科歯科大（176-200）、慶應義塾大（201-250）、東北大（201-250）、首都大学東京（201-250）など
教育学	1	東京大（47）
生命科学	26	東京大（36）、京都大（37）、大阪大（58）、名古屋大（126-150）、東北大（151-175）、北海道大（176-200）、慶應義塾大（201-250）など
物理学	13	東京大（36）、京都大（62）、名古屋大（126-150）、東北大（126-150）、東京工業大（151-175）、大阪大（176-200）など
技術・工学	17	東京大（35）、京都大（42）、東北大（61）、東京工業大（65）、大阪大（98）など
情報工学	7	東京大（35）、京都大（51）、大阪大（101-125）、名古屋大（176-200）、九州大（201-250）、東北大（251-300）、早稲田大（251-300）

＊経営・経済学、法学、心理学はランクイン大学なし。

改革に役立ち、大学の特色を表す客観的・相対的なデータ

（株）ベネッセコーポレーション
大学・社会人事業本部
統括責任者
藤井雅徳

ふじいまさのり●（株）ベネッセコーポレーション高校事業部にて高校の教育改革支援や海外トップ大進学塾「Route H」開発に携わった後、現職。THE世界大学ランキングや語学・留学事業を通じて大学のグローバル化を総合的に支援。

各大学の特色や課題を第三者が客観的に計測

ベネッセグループは2016年にTHEと業務提携を結び、世界大学ランキングの正しい理解と活用を促すため、日本の大学への情報提供とコンサルティングに取り組んでいます。ランキングの考え方、データの信ぴょう性、世界各国への浸透度などから、THEは最も信頼の置ける世界ランキングであるとの認識を持っています。

私たちはこの1年、世界大学ランキングについての勉強会を約200大学で行ってきました。そこでお伝えしているのは、特色化のために改革を行うには、順位によらず、スコアをいかに活用するかが重要だということです。

各大学にはさまざまなデータが存在します。しかしその多くは学内調査によるデータで、過年度比較や学部間比較に用途が限られています。世界大学ランキングのデータは外部機関によって測られた、他大学と比較できる相対的なデータです。各大学の強み、課題、伸びしろなどが数値として算出されており、学内データとは別の観点から大学改革に活用できます。

日本版では今回初めて学生調査を実施しました。「教員と交流する機会がどの程度あるか」「授業にどれだけやりがいを感じているか」「学びが自信につながっているか」「友人や家族に自分の大学を勧めるか」といった11の質問を用意し、411大学にご協力いただきました。調査数がTHEの基準を満たさず、今回は指標化を見送りました。4月現在、THEが回答を分析中です。

ランキングマネジメントをめぐる課題を克服し教育・経営改革へ

（株）進研アド
取締役本部長
田邉心技

たなべしんぎ●（株）ベネッセコーポレーション高校事業部にて数々の高校の教育改革支援に携わった後、2015年より現職。THE世界大学ランキングでは、日本のカウンターパートを担当する。

マネジメントの課題は「誰が？」「どのように？」

ランキングへの対応について大学経営層の方々にアンケートをとったところ、ランキングをさまざまな形で教育・経営改革に役立てているという声の一方で、必要性は感じているものの活用には課題があるというお悩みもいただきました。

改革に活用する手法としては、「改革の方向性を議論する際の材料」「改革の達成度を示す指標」といった学内で活用する手法と、「国内募集広報に使用」「THEのメディアパワーを使った海外でのブランディング強化」といった学外向けの手法があります。

一方で、活用にあたっての課題は、大きくは組織面と方法面の2つの側面があるようです。組織面では、「入力、分析、活用などをどの部署が担うかが決まらない」「IR室のマンパワーが足りない」といった課題があるようです。方法面では、「注目すべき分野・スコアが定まらない」「世界版（研究力）と日本版（教育力）のどちらを重視するか迷っている」といった課題を伺います。これら2つの面をまとめると、ランキングについては、「誰が」「どのように」マネジメントしたらいいかわからない、という点に集約されます。

日本版ランキングは、日本の大学の学部の教育力を可視化し、強みを伸ばして弱点を補強する改革の指標の提供をめざしたものです。私たちはランキングに関心を寄せてくださる全ての大学と共に、こうした課題の解決に取り組んで参ります。

アジアから日本の高等教育を見る

アジア大学サミット 参加レポート

THE Asia Universities Summit 2018 in Shenzhen

2018年2月、日本大学ランキングに先立って、中国・深圳市でアジア大学サミットが開催された。このサミットでは、アジア大学ランキングが発表されたほか、アジア各国の国際的な教育・研究に関する相互交流を目的としたネットワーク構築が盛んに行われた。

※本文中に出てくる大学名の下の[ ]内の数字はTHEアジア大学ランキング2018の順位

拡大するアジア市場に欧米の大学が注目

今回、アジア大学サミットの会場となったのは、中国・深圳市郊外にある南方科技大学。THEが中国本土で初めて開催するイベントということもあり、キャンパスだけでなく、街全体がイベントの熱気に包まれていた。随所にドローンやロボットが登場したのも、中国のシリコンバレー深圳ならではだ。

サミットの開催期間は3日間。アジアの地域特性をふまえて「産業界からの収入」のスコア比率が高いアジア大学ランキング発表のほか、講演会や現地視察、レセプションなどさまざまなイベントが行われた。

参加者の多くは、地元・中国をはじめアジアの大学関係者や政府機関関係者だが、彼らに混じってヨーロッパやアメリカ、オセアニアからの大学関係者の姿も見られた。「伸び盛りのアジアの大学とネットワークを築き、優秀な留学生を獲得したい、共同研究につなげたい」という積極的な姿勢を感じた。

国のベンチマークとなっている。

現に今回のアジア版でトップ350+にランクインした日本の大学は89大学と全体の4分の1を占め、国別では最多である。しかし、トップ20に入った大学は2大学のみ。一方で、中国は全体の5分の1にあたる63大学がランクインし、トップ20に7大学が入っており、トップ大学では中国が優位に立っている。THEデータ・解析ディレクターのダンカン・ロス氏は、「2019年には世界版に中国は新たに10校ランクインするだろう。その中には7年前に設立されたばかりのこの南方科技大も入っているかもしれない」と予測していた。

注目度の高い日本 国際競争力の高い中国

2日目に行われた中国の国家自然科学基金委員会のWei Yang氏の講演では、「影響力の高い学術論文の生産性において、中国の[*1]C9が日本の[*2]RU11を上回った」という説明がなされた。3日目のTHEによるランキング結果分析でも、東京大学【8位】とアジア各国のトップ大学の詳細なスコア比較が解説されるなど、さまざまな面で日本がアジア各国、特に中国のレベルが盛んに行われていた。ディナータイムで同じテーブルだったインドネシアの大学職員とタイの大学教員は、さっそく「学生を送り合おう」というところまで話を進めていた。また、日本のある大学は、「休眠状態になっている海外協定校の関係者を探して、関係継続のために積極的に声をかけている」と話していた。サミットはネットワークを広げるだけでなく、既存のネットワークの活性化にも活用できそうだ。

今回、日本から参加した大学は14校。ランクイン数の割には参加

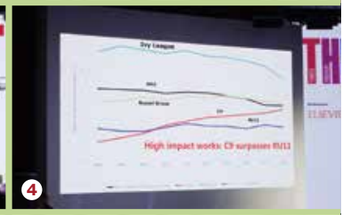
ネットワークづくりや関係継続にサミットを活用

サミットでは、ネットワークづくりが盛んに行われていた。ディナータイムで同じテーブルだったインドネシアの大学職員とタイの大学教員は、さっそく「学生を送り合おう」というところまで話を進めていた。また、日本のある大学は、「休眠状態になっている海外協定校の関係者を探して、関係継続のために積極的に声をかけている」と話していた。サミットはネットワークを広げるだけでなく、既存のネットワークの活性化にも活用できそうだ。

今回、日本から参加した大学は14校。ランクイン数の割には参加大学数が多くないように思う。海外においてもランキングの是非は終わりのない議論であるものの、少なくともランキング結果を活用して自学のプレゼンス向上に役立てようと考えている参加者は、サミット全体を通じて多かった。例えば韓国のKAIST【10位】の広報担当者は、THEの情報誌を含めたさまざまなコミュニケーションチャネルを通じて、海外での認知度を高める努力をしていると話していた。また、マレーシアのペトロナス工科大学【114位】の改革担当者も、THEを含む外部からの評価を広報に使うだけでなく（名刺に評価された機関のロゴ記載あり）、スコアなどを改革の達成目標やKPIとして設定していると語っていた。

アジア版の後に発表された日本版ランキングでは、国際性のスコアの比率が高まった。モビリティを高めることは国際競争力を高めることにつながる。日本の大学に対するアジア各国の注目度は依然として高く、各大学はそのメリットを生かせる立場にある。世界各国で行われる[*3]THEのサミットへの参加は貴重な機会になることだろう。今回の参加を機に改めてそう感じた。

（株）進研アド グローバル支援部
益子裕也
ましこゆうや●大学の活性化、グローバル化に向け、多角的に分析・提言を行っている。



1会場となった南方科技大学。2012年開校の新しい公立大学で、学生数は約4400人。2初日のウェルカムディナーの会場。席は決まっておらず、各自が自由にコミュニケーションを取れる。3南洋理工大学の学長は講演の中で「科学技術への投資こそ都市の急速な発展をもたらす」と述べた。4中国の国家自然科学基金委員会のWeiYang氏の講演資料。影響力の高い学術論文の生産性を、中国のC9、日本のRU11、米国のアイビーリーグ等で比較している。5、6アジア大学ランキング発表の様子。

アジア大学サミット2018概要

【開催日時】2018年2月5日～7日
【開催地】南方科技大学（中国・深圳）
【参加費用】約10万円（早期申し込みで割引あり）
【参加者】世界の高等教育機関の教職員、政府関係者、企業関係者
（日本の参加大学：北海道大、東北大、政策研究大学院大、東京大、東京工業大、静岡大、長岡技術科学大、岡山大、九州大、東洋大、東海大、中央大、関西学院大、近畿大）

テーマ

Connecting cities, changing the world : research universities building Asia

プログラム

1日目
- （午前）THEスタッフによる分科会
- （午後）ランチ／市内ツアー／ウェルカムレセプション／ウェルカムディナー

2日目
- （午前）開会式／基調講演
- （午後）ランチ／分科会／人脈構築のための休憩時間／パネルディスカッション／ディナー／ランチング発表

3日目
- （午前）THEによるランキング結果解説 人脈構築のための休憩時間／パネルディスカッション／基調講演
- （午後）ランチ／パネルディスカッション／基調講演／閉会式

アジア大学ランキング2018TOP20

2018順位	2017順位	教育機関	国／地域
1	1	シンガポール国立大学	シンガポール
2	3	清華大学	中国
3	2	北京大学	中国
4	5	香港大学	香港
=5	6	香港科技大学	香港
=5	4	南洋理工大学	シンガポール
7	11	香港中文大学	香港
8	7	東京大学	日本
9	9	ソウル大学	韓国
10	8	韓国科学技術院（KAIST）	韓国
11	14	京都大学	日本
12	10	浦項工科大学	韓国
13	13	成均館大学	韓国
14	12	香港城市大学	香港
15	15	中国科学技術大学	中国
16	16	復旦大学	中国
17	25	南京大学	中国
18	19	浙江大学	中国
19	17	香港理工大学	香港
=20	18	上海交通大学	中国
=20	29	延世大学	韓国

*1 中国のトップ9大学の総称。構成大学は、北京大、清華大、上海交通大、復旦大、浙江大、南京大、中国科学技術大、ハルピン工業大、西安交通大。
*2 日本の11の研究大学からなるコンソーシアム。構成大学は、北海道大、東北大、東京大、早稲田大、慶應義塾大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大、筑波大、東京工業大。
*3 今年度中に開かれるサミットは、6月にYoung Universities Summit（米国）、7月にTeaching Excellence Summit（英国）、9月にWorld Academic Summit（シンガポール）などがある。いずれもTHEの公式サイトより直接申し込みができる。

Report

日本大学ランキング 高校でどう使われているのか

2017年に初めて発表されたTHE世界大学ランキング日本版。高校の進路指導の現場では、どの程度認知され、具体的にどう活用されているのか？　近年の進路指導の変化と併せて解説する。

ポスター掲示に加え指導に生かす高校も

THE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）が誕生してからまだ1年程度ですが、高校の教育現場では徐々に認知が拡大しています。ベネッセコーポレーションが高校教員を対象に実施した調査によれば、ランキングポスターを校内に掲示している高校は2017年6月時点で約23％。ランキングの発表から3か月程度しか経っていないことを考慮すれば、高い数値と言えるでしょう。

加えて、同年11月の時点で高校教員の約70％が「（日本版を）知っている」と回答しており、ポスターを掲示するだけでなく、すでに4・2％の教員が日本版を「指導・校内資料に生かしている」、6・6％が「話題にした」と回答しています。今後、回を重ねるごとに認知が広まり、指導に活用する高校が増えていくと予想されます。

高校の進路指導は「探究型」にシフト

今、高校の進路指導は、将来の職業を基に進学先を検討する「職業逆算型」から、社会と自分のつながりを深く考えたうえで進学先を絞り込む「探究型」へとシフトしつつあります。というのも、激しい変化が見込まれるこれからの社会では、変化に柔軟に対応しながら自分のキャリアを築いていくことが求められるからです。

このように進路指導が「探究型」へと転換するのに伴い、大学で学ぶことを高校生により意識させるため、大学を、①より広く②より深く③より早く研究する指導が重視されてきています。

①の背景には、高校生の地元志向があります。探究活動を通して将来に対する視野を広げても、進学先を地元に限定してしまうと、地元大学の学部・学科の枠内で進路を考えるようになります。これでは探究活動で得た気づきを進路選択に生かしにくくなります。そのため、大学選びの視野を広げ、地元以外の大学にも目を向けさせるツールとして日本版を活用しているとの声を高校教員から聞くことがあります。

②の「より深く」に関しては、大学の魅力を高校生が自分の言葉で語れるように、大学調べに探究活動の手法を取り入れる試みが挙げられます。この背景には「偏差値だけで大学を選んでほしくない。大学を深く知り、自分のやりたいことを実現できる進学先を見つけてほしい」との高校教員の思いがあります。日本版の分野別スコアに着目し、その背景にある大学の取り組みについて仮説を立て、実際にオープンキャンパスなどで検証させようと考えている高校もあります。

③のように大学研究の時期が早まっている理由の一つには、「フラットな視点で大学を見て、大学で学ぶ意義を考えてほしい」との高校教員の考えがあります。受験が近づくにつれ、高校生が偏差値で進学先を考える傾向は強まります。そのため、1年次の早い時期から、教育・研究の場としての大学を意識付けようとしているのです。日本版のポスターが低学年の生徒でも目に付きやすい廊下などに掲示されているのは、こうした意図があるからでしょう。中には高校入学直後から大学のアドミッションポリシーを研究することで、卒業までに身に付ける力を意識させている高校もあるくらいです。

エビデンスに基づいた情報発信が求められる

このような高校の進路指導の変化に対して、大学にはどのような対応が求められるのでしょうか。

一つは、地元以外の大学に目を向けている高校生に自学の特色を伝え、自学のファンにする努力が重要でしょう。また、大学研究をより深く行うようになっていますから、自学の強みを、エビデンスをしっかり示しながら伝えていくことも求められます。

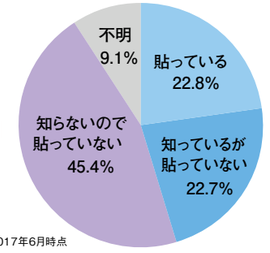
また、大学で学ぶ意義を考えさせる指導の中で、高校生に自学での学びを印象づけるため、3つのポリシーを工夫し、認知させる必要もあるでしょう。

高校の進路指導は、より広く、より深く、より早くへ

	Before	After	大学に求められること
①より広く	地元大や偏差値の高い大学に注目	▶ 教育や研究に特色がある大学に注目	▶教育や研究について、大学としての特色を打ち出す ▶高校生を大学のファンにする
②より深く	情報収集型の大学調べ	▶ 仮説検証型の大学調べ	▶大学の魅力をエビデンスを示して伝える
③より早く	学部・学科を調べてから大学を調べる	▶ まず大学そのものを調べ、研究する	▶大学で学ぶ意義が高校生に伝わるように3ポリシーを工夫し、認知してもらう

日本版2017発表直後、5校に1校がポスターを掲示

【質問】THE世界大学ランキング日本版2017のポスターを活用していますか？

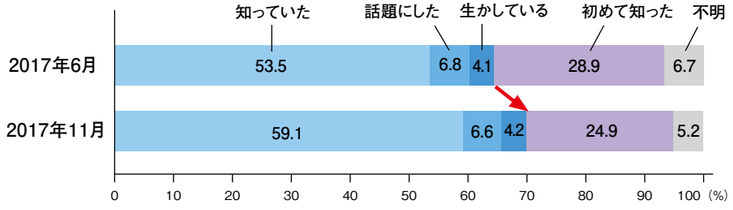


＊2017年6月時点

高校では、偏差値ポスターと並べて日本版ポスターを掲示。

日本版に対する高校教員の認知は徐々に広がっている

【質問】THE世界大学ランキング日本版2017についてご存じですか？



＊2017年ベネッセコーポレーション調べ。高校教員対象。N=4214

わたなべえしん●高校教育や大学入試に関する調査・分析を基に、全国の高校に対して、生徒の成長や自己実現につながる情報提供・指導の提案を行っている。

（株）ベネッセコーポレーション
初等中等教育事業本部
教育情報センター長
渡邉慧信

取材・文／本間学

進路指導の現場で起こりつつあること

THE世界大学ランキング日本版は高校でどう活用されるのか。偏差値一辺倒ではない進路指導を模索している高校に話を聞いた。

「日本版」を活用し、多面的に大学を研究

北海道 札幌南高校

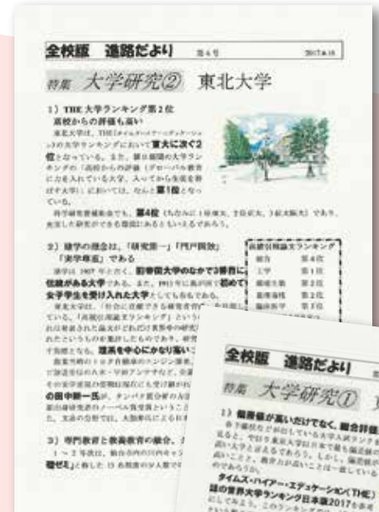
進路実績●2017年度の合格実績は、国公立大学214人（北海道大、東北大、東京工業大、東京大、一橋大、京都大、大阪大など）私立大学の主な合格実績は、慶應義塾大、早稲田大など。

進路部長 高桑知哉　　進路部 安保哲男

ランキングの結果を「進路だより」で紹介

本校では、進路選択に役立つ情報を生徒に提供するために、「進路だより」を作成しています。前年度は、「大学研究」をテーマに全10号を配布しました。その中で、THE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）の結果も紹介し、大学選びの観点を生徒に伝えています。また、1年次に行う進路学習の時間でも、気になる大学の受験科目を調べるだけでなく、日本版のサイトで、その大学の順位やスコアを確認するよう促しています。

そのようなことを始めた理由は、入試難易度以外の観点も含めて進学先を検討してほしいと考えているからです。大学選びの基準が入試難易度だけだと、いわゆる〝偏差値が高い大学〟だけに目が向きがちです。特に低学年次に偏差値だけで志望大を決めると、そこから視野が広がらなくなってしまいます。しかし、〝偏差値が高い大学〟＝「自分が学びたい学問を学ぶのにベストな大学」とは限りません。自分がやりたいことを実現できる進学先を見つけるためには、さまざまな角度から大学を調べる必要があります。その点でも、4つの分野で大学を比較・検討できる日本版は有効だと判断しました。



2017年度の「進路だより」では東京大学、東北大学などを紹介。日本版の総合順位だけでなく、分野別の順位・スコアを交えながら、大学の強みを分析した。

日本版の登場は生徒の大学選びにも影響

教育力を重視している点も、日本版を活用する理由の一つです。就職等に着目したランキングはこれまでもありましたが、それよりも各大学の教育力の分析のほうが、生徒や保護者にアドバイスする際には説得力があります。また、スコアを算出するための項目もバランスがよいと感じています。

そうした新しいランキングの登場は、生徒にもインパクトがあったように思います。正確にその影響を測ることはできませんが、前回総合ランキングで2位に入った東北大学への志願者が本校では例年に比べて多くなりました。

加えて、これまで本校の生徒の志望先としてあまり意識されることのなかったエリアの大学も、選択肢として名前が挙がってくるようになりました。実際に日本版のスコアを見て、本校から進学する生徒がほとんどいなかった長岡技術科学大学を第一志望にする生徒も出てきました。われわれにとっても、生徒が日本全国から「自分が本当に満足できる大学」を見つけて進学していくのは喜ばしいことです。日本版が浸透するにつれ、そうした生徒が増えていくのではないでしょうか。

＊前回総合ランキング17位

取材・文／本間学　撮影／高橋龍次（札幌南高校）、冨岡誠（和気閑谷高校）

「日本版」の研究を探究活動の一部に

岡山県立 和気閑谷高校

進路実績（普通科）●過去3年間の4年制大学進学者は約4割（国公立大学1.5％、私立大学35.7％）。私立大学の主な合格実績は、川崎医療福祉大、岡山商科大、岡山理科大、環太平洋大、就実大など。

校長 香山真一

スコアに表れた大学の特徴を探究させたい

前年度はTHE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）のポスターを廊下に貼って、大学選びの参考にさせていました。今後は進路指導の中にも徐々に取り入れていきたいと考えています。ただし、「ランキング上位の大学＝よい大学」として勧めるような短絡的な指導ではなく、気になる大学の分野別スコアに着目させ、「なぜこのような数値になっているのか」「数値の裏にはどんな取り組みがあるのか」などを生徒自身に調べさせる指導を想定しています。ランキングをきっかけとして、自らのキャリアを探究することが重要だと考えるからです。

活用のタイミングは1、2年次の大学調べの時期になるでしょう。オープンキャンパス参加時に活用するのもおもしろいと思っています。参加前にスコアを調べて、そのスコアになった理由について仮説を立て、オープンキャンパスをフィールドワークと見立てて、施設を見学したり、教員や在学生に質問したりする。そのプロセス自体が探究活動となり、教育効果があると思っています。

ランキングが大学教育の質を高めることに期待

日本版については、分野別のランキングを確認することで、これまでの偏差値ランキングでは埋もれていた大学の魅力が見えてくる点を評価しています。特に高校の評判調査から算出された「教育充実度」は多くの高校教員が注目しています。また、大学から見ても、「教育充実度」は改善の取り組みがいのある指標でしょう。その際にポイントとなるのは、「いかに学生主体の教育を行うか」ではないでしょうか。大学で成長を実感できた学生は、その感想を母校の高校に伝える傾向があります。結果的に彼らの意見が高校教員の評判に反映されていくのです。

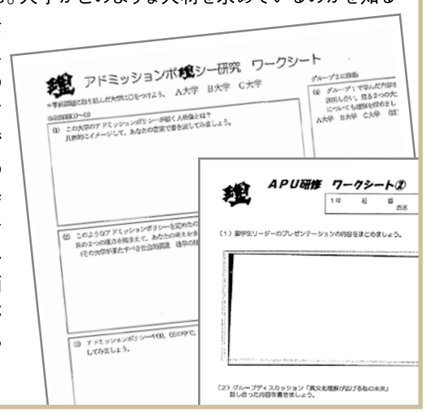
そのように、これまでになかった指標がランキングに設定されることで、大学教育の中身が変わっていくのではないかと考えます。さらに、大学教育の質が変化すれば、それを測るための新たな指標が登場する可能性も出てくるでしょう。ランキングと大学教育が相互に影響し合い、互いの質を高め合うような関係になることを期待しています。

福岡県立筑紫高校

進路実績●2017年度の合格実績は、国公立大学135人（福岡教育大、佐賀大、長崎大など）。私立大学の主な合格実績は、福岡大、西南学院大など。

AP研究から考える高校生活と将来

近年の高校の進路指導は「早期から」「より深く」大学調べをさせるようになっている。福岡県立筑紫高校では、入学直後の4月から、大学のアドミッション・ポリシー（AP）の研究をさせている。指定された3大学（東京大、大阪大、愛媛大）のAPを熟読し、「APが描く人物像」「大学がこのAPを定めた理由」などのワークに取り組む。大学がどのような人材を求めているのかを知ることで、今後の高校生活を考える第一歩にしてもらうことが目的だ。また、1年次の7月には、近隣の立命館アジア太平洋大学（APU）での研修を設け、「何のために学ぶのか」「将来、社会のために何ができるのか」を生徒が考えるきっかけにしているという。大学を多面的に調べさせることを通じて、自らの将来を考えさせる教育の好例と言えよう。



How to

対外コミュニケーションと学内コミュニケーションにランキングを活用する方法

(株)進研アド
教育改革支援室 室長
横山俊介

よこやましゅんすけ●(株)ベネッセコーポレーション高校事業部を経て現職。THE世界大学ランキング分析、留学促進施策研究、英語力向上プログラム開発など、大学のグローバル化を総合的に支援。

取材・文／児山雄介

ランキングの活用法は2通りある

THE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）が発表されて1年、多くの大学でグローバル化に関する研修のお手伝いをする中で、ステークホルダーに与えるランキングの影響力は徐々に理解されてきたと感じます。大学にとってランキングは、「対応せざるを得ない」ものから「使わない手はない」ものに変わってきました。

ランキングの活用には、スコアやランクを高めるための学内コミュニケーション、ランキングをアピール材料として使う対外コミュニケーションの2つの方向性があります。加えて、これらを実現するためには、ガバナンスの強化も必要でしょう【図表1】。

アジア諸国ではランキング活用に積極的な大学が多々あります。世界大学ランキング2018（以下、世界版）22位のシンガポール国立大学は、IR担当の職員を約30人配してランキングを分析。必要な施策を検討して学内各部署と連携する一方で、対外的なメディア戦略も講じています。「ランキングが向上すれば世界のトップ大学とのコミュニケーションがしやすくなる→ますますプレゼンスが上がる」という好循環に気づいたからこそ、ランキング施策に人や資金を投じているのです。

対外コミュニケーション
ポジションを把握して広報戦略を練る

日本版と世界版の結果を組み合わせると、自学の広報戦略上のポジションを確認できます。日本版が教育力を、世界版が研究力を表すと見なすと、例えば【図表1】のようなポジショニングマップができます。国際的な指標から自学の教育力、研究力を把握したうえで、それらを国内、国外にアピールする方法を考えてみましょう。

両ランキングに入り、中でも世界版で600位以内のAゾーンの大学は、研究力が高い大学です。まずはそのことを国内外にアピールしましょう。さらに国際競争力を高めるためには、世界TOP200をベンチマークしましょう。

Bゾーンの研究力も教育力も高い大学は、それを国内だけでなく海外にアピールできるポジションにいます。というのも日本版が通用するのは国内だけではないからです。年間12億PVを記録するTHEの英語版サイトに掲載されるランクイン大学のスコアやプロフィールは、世界に対して強い影響力があります。留学生募集、海外大学との協定締結、海外研究者との共同研究などに有効でしょう。会津大学のようにTHEのサイトをブランド強化に活用する動きも見られ始めました。

教育力が高いのがCゾーンの大学です。桜美林大学では、THEのサイトや情報誌を活用して教育力の高さを国内外に紹介しています。

ランキングは外部機関による評価なので、強みを広報する素材として使い勝手がよい点が特徴です。単に「グローバル教育に力を入れている」と広報するよりも、ランキングやスコアをエビデンスとして活用することによって、他大学に比べてどれだけ優れているのかを相対的に示すことが可能です。

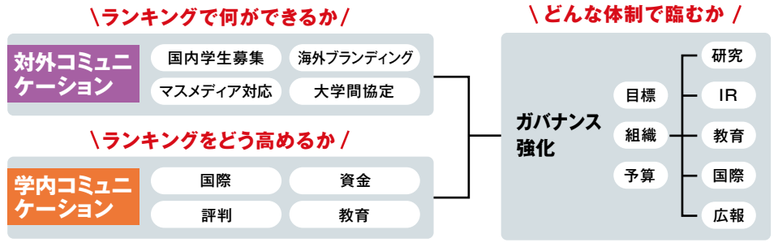
学内コミュニケーション
改革のKPIとしてスコアの活用を

一方の学内コミュニケーション、つまりランキングを高めるための施策についてはどのようなものがあるでしょうか。多くの大学に聞いた情報を集約すると、日本版の4分野については、【図表3】の施策が有効だと考えられます。

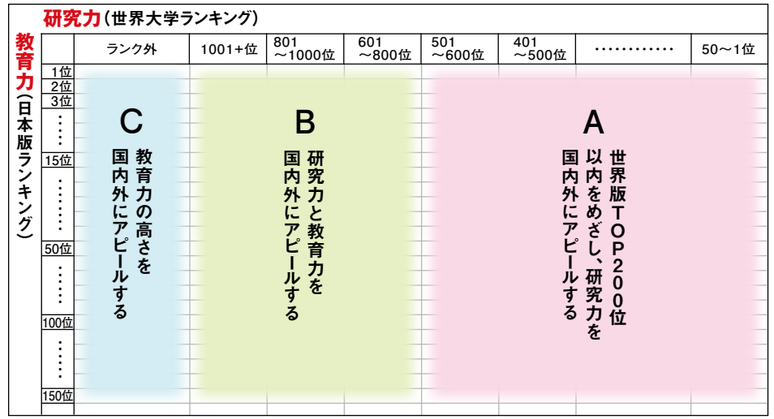
例えば「教育リソース」のスコア算出項目は「資金」「入学者の学力」など4つの要素に整理することができます。それぞれを充実させるためには「財務マネジメント」「高大接続改革」といった施策があり、これらを通して戦略的な資源の獲得と分配が実現できます。

総合スコアも含め、ランキングのスコアは、改革を進めるためのKPIとして利用価値があります。自学独自の調査とは異なり他大学との比較ができるため、IRに用いやすいと言えます。自学が意識している分野があれば、ぜひご活用ください。

【図表1】ランキング活用法とその体制



【図表2】対外コミュニケーション 教育力や研究力をどのようにアピールするか？



【図表3】学内コミュニケーション 日本版の指標から考える教育力向上施策の一例

分野	構成要素	施策例			改革の視点
教育リソース	資金	□財務マネジメント □コスト構造改革	□競争的資金獲得 □産学連携促進	□寄付金の獲得	戦略的な資源の分配
	教員数・学生数	□入学者定員管理	□教員数管理	□教職員の質向上	
	論文	□研究マネジメント	□URAの設置	□研究と教育のバランスマネジメント	
	入学者の学力	□高大接続改革 □育成型入学者選抜	□eポートフォリオを活用した入学者選抜	□データを活用した戦略的募集戦略	
教育充実度	質の高い教育	□入学前教育、初年次教育、基礎教育の充実 □少人数教育の充実	□ゼミの低学年化・活性化 □資格取得率の向上 □アクティブ・ラーニングの活性化	□語学教育プログラムの充実 □海外留学の活性化	特色ある教育による人材育成
	学生の成長実感	□ポートフォリオの活用 □学修歴・活動歴の可視化	□リフレクションの機会設定 □在学生調査の充実	□在学生調査の経年比較 □卒業生調査のしくみ構築	
	特色の認知拡大	□広報戦略のブラッシュアップ □高校向けの広報の低学年化	□高校の進路指導教員とのリレーション強化	□高大接続プログラムの開発 □同窓会組織の活性化	
教育成果	能力の定義と言語化	□ディプロマポリシーの明確化 □ディプロマポリシーに沿ったカリキュラムポリシー策定 □カリキュラムポリシーを実現し得るアドミッションポリシーの策定	□主体性／多様性／協働性の育成 □思考力／判断力／表現力の育成 □育成する能力と測定する評価の一体化	□大学全体としての学修歴の可視化と検証 □ポートフォリオ構築とIR室による検証・改善	一貫性のあるAP・CP・DPの構築
	能力の育成	□キャリア教育の充実 □国内・海外インターンシップの充実 □就職活動支援の充実	□OB・OGのネットワーク構築 □大学院への最適なマッチング □アクティブ・ラーニングの導入	□学生自身の学修歴の可視化とアピール □語学力を育成するしくみの充実	
国際性	キャンパス内のダイバーシティの推進	**●外国人留学生の受け入れ促進** □留学生募集戦略の立案 □海外協定校の拡大、海外での認知拡大	□国内の日本語学校へのプロモーション強化 □留学生入試の工夫 □日本語教育プログラムの構築	□英語学位取得プログラムの設置 □留学生生活環境、住環境整備 □留学生の就職支援	グローバル人材を育成できるしくみの構築
	グローバル環境を生かした学生の育成	**●日本人学生のマインドセット** □英語学習環境の整備 □留学にチャレンジする機会の拡大	□留学にチャレンジしやすいスケジュール設計 □留学生と共同生活できる国際寮の設置	□学生の英語力の可視化と検証 □英語外部検定試験の入試活用 □外国人教員受け入れの促進	

時代の要請に応え新たな教育を提供

グローバルに活躍する技術者を養成

九州工業大学

異文化交流や汎用的スキルを重視した工学教育が企業、高校教員から評価されている九州工業大学。「教育充実度」や「教育成果」の向上につながっている。

留学者数が5年で5倍 グローバル化を急展開

今回の日本版ランキングでは、4分野ともスコアが上昇しました。本学の教育活動が前進し、高校教員や企業からも評価された結果として、うれしく受け止めています。よい評価を教職員全員で共有すれば士気が高まります。逆に、悪い評価は、社会的関心と本学の活動との間に開きが生じていると受け止め、対処をしています。

本学は1909年に開学した技術者養成を旨とする明治専門学校を前身とし、各時代において、どのような技術者が活躍できるのかを考え、教育のあり方を変えてきました。現在は、専門性に加えて、グローバル化への対応が不可欠です。そこで協働性、受容力、発言力といったグローバルに活躍する技術者に求められるコンピテンシー(GCE:Global Competency for Engineer 左ページ図参照)を養成する教育パッケージの開発と推進に取り組んでいます。

GCEの教育活動には、「海外学習体験(Study abroad)」「海外就業体験(Work abroad)」「グローバル教養教育」「語学教育」「留学生との協働学習」の5つがあります。このうち「海外学習体験」については、615人の学生が2012年度と比べると5倍以上の数です。2017年度には参加。一方、「海外就業体験」には年間30人程度が参加しています。

こうした海外への学生の派遣では、マレーシアにある海外教育研究拠点(*1MSSC)を有効活用しています。これは2013年にマレーシアプトラ大学と共同で設置したもので、国立大学では本学が初の試みです。海外学生派遣プログラムの学習拠点や、インターンシップの受け入れ先企業の開拓拠点として利用しています。

また、「留学生との協働学習」の一つに、衛星開発プロジェクトがあります。これは日本、ガーナ、モンゴル、バングラデシュ、ナイジェリアで各国1基、全5基の超小型人工衛星を共同開発する国際プロジェクトです。本学大学院宇宙工学国際コースに在籍する各国の学生が中心となり、教員のサポートを受けながら開発に取り組みました。この活動は、「*2GEDC エアバス・ダイバーシティ・アワード2017」を受賞することができました。エンジニアの国際的多様性が増すことへの本学の貢献が認められての受賞でしょう。

地域で確立した評価を国内外に広めるために

こうしたグローバル化への対応は、「教育充実度」の「グローバル人材育成の重視」や「国際性」のスコアに寄与したと考えられます。

その他に、学生の自主的な課外活動を支援する「学生プロジェクト」も、GCEの養成に大きく貢献しています。学生がチームを作り、ものづくりの企画を提案。審査通過チームに最大200万円の資金を提供しており、ロボカップ2017世界大会優勝など数多くの実績があります。

本学の取り組みや教育・研究に対する姿勢は、九州、西日本では認知されていますが、日本全国、世界となると、まだまだ不十分です。研究や教育のよさを示す客観的な指標としてランキング結果も活用しながら、入試説明会、高校訪問、海外での留学説明会などを通して、積極的に認知の拡大に取り組んでいきます。

*1 Malaysia Super Satellite Campusの略。
*2 Global Engineering Deans Councilの略。エンジニアリング教育の大手国際組織。

学長 **尾家祐二**

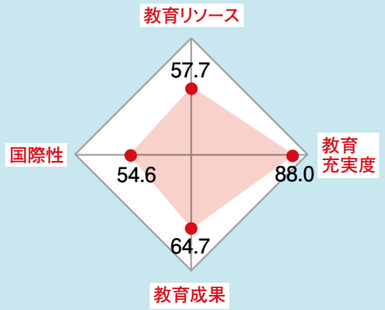
おいえゆうじ●1978年京都大学工学部数理工学科卒業。1987年同大学大学院にて工学博士号取得。日本電装㈱(現㈱デンソー)、佐世保工業高等専門学校電気工学科助教授などを経て、九州工業大学へ。情報工学研究院長、理事・副学長などを歴任し、2016年4月より現職。専門は情報ネットワーク工学。

取材・文／児山雄介　撮影／福山哲

学生数／5653人　学部／工、情報工
大学院／工学、情報工学、生命体工学
●THE世界大学ランキング2018／801-1000位
●同アジア大学ランキング2018／251-300位
●同世界大学ランキング日本版2017／=28位

THE世界大学ランキング日本版2018の結果

分野	スコア	順位	その他指標
総合	66.3	24位	外国人学生比率／4.6%
教育リソース	57.7	=67位	日本人学生の留学比率／9.0%
教育充実度	88.0	36位	外国語で行われている講座の比率／2.2%
教育成果	64.7	29位	海外の大学との大学間交流協定数／98件
国際性	54.6	70位	



取り組み体制

▶学長企画室に評価担当を置き、データの分析および、執行部、広報、入試等各部署への情報共有を行う
▶データの入力は評価担当、IR担当が行う

分野	重点度	取り組み	指標
教育リソース		▶海外大学との共同研究を支援する国際ジョイントリサーチプログラムを2016年度に開始。研究の活発化により良質な論文を増やす ▶2015年度に企業との共同研究講座を設置。企業から資金提供を受けるとともに研究者を大学に受け入れ、教員と共同研究を行う	▶共同研究および受託研究の受け入れ額(教員一人あたり)を20%程度増 ▶国際共著論文数10%程度増
教育充実度	◎	▶グローバル・エンジニアに必要な力として「GCE」を定め、育成 ▶課外活動「学生プロジェクト」を支援。主体的に課題を発見・解決する力を育成 ▶全学部・学科でJABEE認定を獲得し技術者教育の質保証を行う	▶大学院進学者のうち、グローバル・エンジニア養成コース受講者60%以上 ▶高次のアクティブ・ラーニング科目20科目程度
教育成果		▶産学連携教育審議会を設置。委員である大手企業の人事担当や取締役から、社会で求められる人材について情報収集 ▶世界トップレベルの研究実績を生み出す可能性のある6つの研究分野を重点プロジェクトに集約し、その研究成果を教育力に還元	▶産業界との協働による教育プログラムを5つ以上開設
国際性	◎	▶マレーシアプトラ大学と共同で海外教育研究拠点を設置。そこを起点に海外インターンシップ受け入れ先企業の開拓や海外の大学との連携強化を推進 ▶ダブルディグリープログラムやエラスムス・プラス*3を活用した、留学生の受け入れ、送り出し	▶海外学位取得者・外国出身者・海外教育研究経験者比率20% ▶海外インターンシップ等参加学生数の大学院修了者数に占める割合80%以上

注目!

6年一貫の教育プログラムによりさらに多様なグローバル経験を

九州工業大学では学部学生の約6割が大学院に進学することから、2012年度入学生を対象に、6年一貫(学部4年＋大学院2年)の教育プログラム「グローバル・エンジニア養成コース」を新設。当初から6年を一括りとすることで、より体系的でシームレスな学びが実現でき、高度なGCE(右図)の獲得につながると期待されている。

英語能力試験のスコアがコース修了の要件で、海外留学を含めた国際協働演習は必修。海外派遣プログラムは、異文化理解の海外留学といった学部低学年向けのものから、海外インターンシップや海外研究室への中長期留学など、より実践的なものまで準備されている。

GCE (Global Competency for Engineer)

*3 EU域内留学を支援する資金助成プログラム。

学内資源の活用と地域連携を強化

新学部設立により国際化と特色化を推進

兵庫県立大学

地域に根差した総合大学である兵庫県立大学。特色化を図るうえで、日本版ランキングの結果をどう分析・活用するのか。学長に考えを聞いた。

学長 **太田 勲**

おおたいさお●1967年大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻修士課程修了。1993年姫路工業大学工学部教授。2001年姫路工業大学工学部長。2013年兵庫県立大学副学長、産学連携・研究推進機構長、学術総合情報センター長。2017年より現職。専門は光・電磁波工学など。工学博士。

取材・文／本間学　撮影／岸隆子

新学部をグローバル化の量的な拡大の起爆剤に

ランキングは、外から見た本学の強み弱みを示すものとして、強く意識しています。今回の分野別順位からすると、本学の強みは「教育リソース」で、課題は「国際性」にあると言えるでしょう。

「国際性」については、2013年度からグローバルリーダー教育プログラムを設け、高度な英語教育や海外研修等を実施し、その向上に取り組んできました。現在は副専攻プログラムとして約100人の学生が受講していますが、約1300人の入学定員からすると、受講者の割合は決して大きくはありません。量の面で課題があり、そのことがランキングの「国際性」のスコアに表れているのだと思います。グローバル教育の質的な向上と同時に、量的な拡大もめざさなければならないでしょう。

拡大の起爆剤になると考えているのが、2019年度に開設予定の国際商経学部（設置届出中）です。この学部に設置するグローバルビジネスコースは、全て英語で授業を行い、1年次には、日本人学生・留学生が共に学生寮で共同生活を送ります。英語で行う授業は他コースの学生も履修できるようにします。留学生の募集についても、東南アジアを中心に活動を強化していきます。これにより学部、およびキャンパス全体の国際化の推進につなげたいと考えています。

近隣の先端研究施設を活用し、特色化を図る

「教育充実度」「教育成果」のスコアも伸ばしていく必要があります。それには、学内資源を活用した研究力の強化と、特色化の推進により、大学のプレゼンスを高めることが重要です。

研究力強化に向けては、まず博士課程への進学率を高め、大学院の研究を活性化させます。兵庫県には大型放射光施設（SPring-8）やX線自由電子レーザー施設（SACLA）など、世界最先端の研究施設があり、本学の教員にはそれらを利用し、研究している者が数多くいます。こうした環境面での利点を生かして、学生の研究意欲を刺激し、博士課程への進学者を増やしていくつもりです。

また、ビッグデータの収集・分析を専門的に学ぶ社会情報科学部を2019年度に開設予定（設置構想中）です。本学には、スーパーコンピュータ「京」を有する施設と連携した大学院研究科があります。そこの研究者が社会情報科学部の専任教員として、学部生の教育にあたる予定です。学内資源を生かした特色ある教育・研究を実現することで、他大学のデータサイエンス系学部との差別化を図ります。

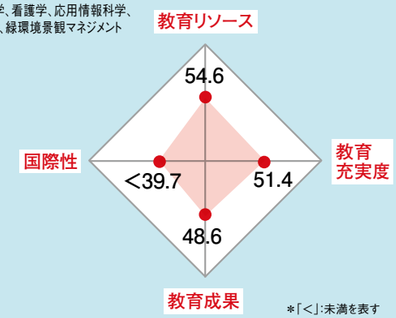
県立大学である本学にとって、兵庫県や県内の企業、自治体との連携は使命です。例えば、画像識別によりパンなどの商品の購入金額を瞬時に計算する「AIレジ」の開発は、地元企業が抱える課題を共同で解決したその好事例でしょう。この他にも灘の酒で有名な兵庫ならではの日本酒の商品開発などで、地域とはシームレスにつながっています。

大学をグローバル化すること、研究力を高めることがゴールではありません。その先に大学として地域に何ができるかを追求することにこそ、本学の存在意義があると考えています。

学生数／6682人　学部／経済、経営、工、理、環境人間、看護
大学院／経済学、経営学、工学、物質理学、生命理学、環境人間学、看護学、応用情報科学、シミュレーション学、地域資源マネジメント、減災復興政策、会計、経営、緑環境景観マネジメント
●THE世界大学ランキング2018／1001+位
●同アジア大学ランキング2018／301-350位
●同世界大学ランキング日本版2017／82位

THE世界大学ランキング日本版2018の結果

分 野	スコア	順位	その他指標
総合	48.6-49.9	101-110位	外国人学生比率／2.6%
教育リソース	54.6	86位	日本人学生の留学比率／3.4%
教育充実度	51.4	137位	外国語で行われている講座の比率／2.6%
教育成果	48.6	104位	海外の大学との大学間交流協定数／39件
国際性	＜39.7	-	



＊「＜」:未満を表す

取り組み体制

▶法人本部経営企画部が担当

分野	重点度	取り組み	指標
教育リソース		▶世界最先端の施設（理化学研究所のスーパーコンピュータ「京」など）を活用した共同研究を推進することなどで、教員の研究および、学生のドクターコース進学を支援	▶外部研究資金（科研費）の申請者率100% ▶外部資金獲得額25億円
教育充実度		▶高校校長会と大学執行部で高大接続に関するディスカッションを実施 ▶出前講義を県内中心に100校程度で実施 ▶新設の社会情報科学部（設置構想中）では、ビッグデータを分析・活用する教育環境を整えるため、新教育研究棟を建設予定	▶大学志願者倍率7倍 ▶就職率99%
教育成果	◎	▶地元企業との共同研究の推進（画像データ判別による会計システムなど） ▶研究機関の研究者との連携、学学連携（神戸大学や他の公立大学など）の推進	▶博士号学位取得者数の増加 ▶共同研究・受託研究件数220件
国際性	◎	▶グローバルリーダー教育プログラムの開設 ▶国際商経学部の新設（設置届出中） ▶県内企業が進出している地域を中心に、海外インターンシップを拡大 ▶国際学生寮の新設	▶派遣および受け入れ留学生数各300名 ▶外国人教員比率10%

注目！

社会のニーズに対応した特色ある2学部を新設

兵庫県立大学は、2019年度に「国際商経学部」「社会情報科学部」を設置予定。国際商経学部には3つのコースがあり、中でもグローバルビジネスコースでは、授業を全て英語のみで行い、1年次は日本人学生と留学生が国際学生寮で共同生活する。社会情報科学部では、ビッグデータの収集・解析・実社会への応用等の知見を身に付けさせる。

高坂誠副学長は「グローバル人材の育成もビッグデータの収集も、学内で完結できるものではない。企業や行政に協力をお願いすることは不可欠だ。グローバル大学をめざして地域・世界との連携を強化し、学部の教育の質を高めたい」と話している。

国際商経学部 ＊設置届出中

【特色】
経済学・経営学の両輪を学び、グローバル人材をめざす
【学科】
国際商経学科
【コース】
経済学コース、経営学コース（定員280名）
グローバルビジネスコース（定員80名　留学生含む）

＊2018年4月現在の予定（変更する場合があります）

社会情報科学部 ＊設置構想中

【特色】
ビッグデータを収集・分析し活用することを学ぶ
【学科】
社会情報科学科（定員100名）

＊2018年4月現在の予定（変更する場合があります）

ミッションに基づく特色ある国際化教育
価値観を共有し、数値目標を掲げ改革推進
桜美林大学

「国際性」と「教育充実度」で高スコアの桜美林大学。人種や地域を超えた国際化教育を提供すべく、学園全体で改革に取り組んでいる。

ランキングでわかる高校教員の本音

日本には780もの大学がありますが、これまでは偏差値＝「教科学力の努力の証」しか大学を選ぶ基準がありませんでした。THE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）は教育力の観点から各大学の特色を調べ、整理しているため、高校生や保護者にとっては、利用価値が高いと言えます。特に保護者にとってはわが子を預ける大学の特色がより明確に把握できるようになるでしょう。

大学にもメリットがあります。従来、大学からの情報発信は一方通行で、受験生や高校側の本音はわかりませんでした。日本版なら高校教員の本音にアクセスできます。今回、その評価が高かったことが最も喜ばしいことでした。

本学の源流は、1921年に中国で設立された学校にあり、そこでは人種や地域を超えたコミュニティでの学びが実践されていました。その当時創立者が考えたことを100年後の今やるとこうなる、という施策をまとめたのが国際化戦略「REDEMPTION21」です（左ページ参照）。英語による授業科目数、留学経験者数、留学生や外国人教職員の数など、具体的な数値目標を掲げて取り組んでいます。数値目標を設定したのは、達成までの道筋をつけ、取り組みの進捗をレビューするとともに、皆でがんばるという覚悟を持つためです。指標の多くは日本版のそれと重なるので、結果的に国際性が高く評価されたのでしょう。

量的な施策だけではなく、質の保証も重要です。例えば日本人学生の海外派遣。アメリカに設立したNPOを通して、現地の大学と直接交渉し、「英語×スポーツ産業」（アトランタ）など、語学教育のみにとどまらないその大学が立地する地域の特性に応じた留学プログラムを提供しています。その結果、大学改革支援・学位授与機構の大学機関別選択評価「教育の国際化の状況」の審査を受け、最高の評価を得ることができました。

ミッションに従って重視する指標を選択

ランキングが低い分野は、大学の課題になるわけですが、気を付けたいのは、全指標を高めようとすると、結果的に特色が薄まる恐れがあることです。ですから、ランキングの活用は、あくまでもその大学の使命に応じて行うべきでしょう。本学の理想とする大学像の実現のため、中にはあえて重視しない指標もあります。他は低くてもここは高いという特色が明確な大学をめざします。

改革の実行にあたっては、組織やマネジメントのあり方が非常に重要です。一番大切なのは、なぜそれをやるのか、基準となる価値観を全学に共有すること。これが浸透すれば、各現場での課題にどう取り組むか、各自で判断できるようになります。

そこで、事務組織を法人に一元化すると同時に、大学全体の意思決定と各学群の方向性をすり合わせる工夫を行いました。また、2019年にビジネスマネジメント学群、2020年に芸術文化学群を新キャンパスに移転させ、各学群の学びの特徴に合ったキャンパスの拠点化を計画しています。学群の独自性を確保しながら、大学全体のブランドイメージを高める努力も続けていくつもりです。

取材・文／仲谷宏　撮影／坂井公秋

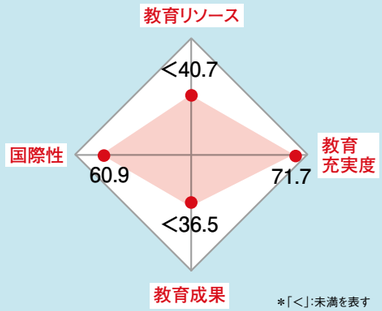
学長 **畑山浩昭**

はたやまひろあき●桜美林大学文学部卒業（B.A.）、ノースカロライナ大学シャーロット校大学院修士課程修了（M.A）、ノースカロライナ大学グリーンズボロー校大学院博士課程修了（Ph.D.）、マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了（M.B.A.）。2006年に桜美林大学教授となり、その後、学長補佐、基盤教育院長、国際センター長、副学長を経て、2018年4月より現職。専門はレトリック学。

学生数／9424人　学群／リベラルアーツ、グローバル・コミュニケーション、ビジネスマネジメント、健康福祉、芸術文化
大学院／国際学、経営学、言語教育、心理学、大学アドミニストレーション、老年学
●THE世界大学ランキング日本版2017／111-120位

THE世界大学ランキング日本版2018の結果

分野	スコア	順位	その他指標
総合	44.6-45.3	121-130位	外国人学生比率／4.2%
教育リソース	＜40.7	-	日本人学生の留学比率／7.5%
教育充実度	71.7	72位	外国語で行われている講座の比率／1.3%
教育成果	＜36.5	-	海外の大学との大学間交流協定数／141件
国際性	60.9	49位	



＊「＜」:未満を表す

取り組み体制

▶改革の方向付けは総合企画部が行うが、ランキング対応の専門部署はない
▶方針に基づき、国際的な取り組みは国際センター、教育支援は学務部教務課など、必要に応じて各部署が担当

分野	重点度	取り組み	指標
教育リソース		▶教員を本務（教育と研究と社会貢献）に集中させ、大学の運営は職員が担う教職協働の徹底 ▶研究は「グローバル教育の実践に還元できる」研究に集中 ▶建学の精神に沿った理数系教育や実学教育の強化 ▶科研費などの競争的資金獲得の努力	SD研修の実施回数／教育研究費比率／志願者数／競争的資金申請数、採択数など
教育充実度	◎	▶学群制での幅広い学びと、レイトスペシャリゼーションによる学びのモチベーション強化 ▶高大接続改革の取り組みとして高校生向けに「AO・推薦準備セミナー」を実施、レディネスの形成に向けた機会提供 ▶学内開催の高校教員向けのセミナーや研修会を通じて情報発信	AL、SL、OR実施件数*1／産学官民の連携案件学生参加者数／学修環境整備の学生満足度など
教育成果		▶サービス・ラーニング科目による実社会の体験的な理解と主体性の育成 ▶キャリア開発センターによる入学時点からの包括的なキャリア支援 ▶ボランティアやインターンシップの機会拡大	国内外インターンシップ参加者数／卒業生向け事業の参加者数／eポートフォリオ導入など
国際性	◎	▶5カ所の海外拠点を中心にした、オリジナル留学プログラムの開発・展開 ▶英語、中国語で開講する留学生向けの多彩な日本研究プログラムの拡充 ▶外国人教職員比率や外国語で教える授業科目比率の向上 ▶日本人学生と外国人学生混住型の国際寮での日常的な国際交流の促進	英語による授業科目数／外国籍の学生や教職員比率／日本人学生の留学経験者数など

＊1アクティブ・ラーニング、サービス・ラーニング、アウトリーチ活動

注目！

組織改革によるガバナンス強化で国際化戦略「REDEMPTION21」推進

改革を推進しやすくするため、2018年度から大学など各附属校に所属していた事務組織を桜美林学園の下に一元化し、全部門の情報共有を図ることにした。また、学長と副学長、学長補佐で構成していた「学長室会議」を、全学群長を加えた「拡大学長室会議」に切り換え、大学全体の経営と各学群の経営をすり合わせる体制を整えた。

大学運営に関しても、教員による委員会方式から事務職員が企画・運営する形式に変更。職員は自学の大学院・大学アドミニストレーション研究科で学ぶなどしてスキルアップを図っており、教職協働のレベルを上げていくことにも積極的に取り組んでいる。

「REDEMPTION21」

1. RESEARCH:研究の国際化
2. EDUCATION:教育の国際化
3. DIVERSITY:多様性の推進
4. ENGLISH:英語公用化
5. MOBILITY:流動性の推進
6. PRACTICE:海外実習、異文化実習の推進
7. TECHNOLOGY:技術のグローバル対応
8. INTEGRITY:国際化に向けた組織全体の統一
9. OPPORTUNITIES:教職員や学生のための、多様な機会の創出
10. NETWORK:外部機関とのネットワーク増強と協働

THE世界大学ランキング日本版2018 総合ランキング

＊ Times Higher Educationが、2018年3月28日に公表した情報に基づいています
＊ 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています
＊ 前年エントリーしなかった大学が今年エントリーし、前年順位がNRになっている場合があります
＊ 世界2018：World University Rankings 2018（2017年9月発表）／アジア2018：Asia University Rankings 2018（2018年2月発表）を示しています
＊ 1〜100位は個別に順位がつきます。101位以下は150位まで各10校程度を同順位としています
＊ ＝：同順位の大学あり／—：各分野の順位が151位以下のためスコア非表示／NR：ランクインしていない

JAPAN UNIVERSITY RANKINGS

2018順位	2017順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall	アジア2018順位	世界2018順位
=1	3	国	京都大学	京都府	84.7	99.6	98.6	66.3	87.7	11	=74
=1	1	国	東京大学	東京都	85.4	99.7	98.9	65.0	87.7	8	46
3	2	国	東北大学	宮城県	83.4	99.6	95.6	64.6	86.3	30	201-250
4	= 4	国	東京工業大学	東京都	77.6	98.1	94.7	74.1	85.6	33	251-300
5	7	国	九州大学	福岡県	74.8	98.4	97.7	72.2	85.0	=48	351-400
6	8	国	北海道大学	北海道	75.3	97.4	94.8	67.4	83.4	=55	401-500
7	= 4	国	名古屋大学	愛知県	72.3	97.7	95.6	67.4	82.6	35	301-350
8	6	国	大阪大学	大阪府	77.9	98.5	95.4	49.8	81.1	28	201-250
9	9	国	筑波大学	茨城県	75.0	98.6	88.1	60.0	80.8	63	401-500
10	11	私	慶應義塾大学	東京都	59.7	99.1	97.2	61.0	77.7	=127	601-800
11	10	私	早稲田大学	東京都	53.6	99.2	93.8	73.6	77.5	=135	601-800
12	20	公	国際教養大学	秋田県	47.3	99.8	70.6	100.0	76.1	NR	NR
13	12	国	広島大学	広島県	67.6	97.1	76.6	60.6	75.7	109	601-800
14	14	国	一橋大学	東京都	51.9	96.6	89.1	73.2	75.2	NR	NR
15	18	私	上智大学	東京都	46.0	97.7	69.4	90.9	73.1	251-300	801-1000
16	15	私	国際基督教大学	東京都	52.0	98.1	44.4	96.8	71.4	NR	NR
17	27	国	東京外国語大学	東京都	45.4	93.9	64.3	91.5	71.0	NR	NR
18	13	国	神戸大学	兵庫県	64.2	92.9	69.3	54.4	70.7	=149	601-800
19	16	国	千葉大学	千葉県	63.5	93.9	72.0	50.7	70.5	134	601-800
20	19	国	金沢大学	石川県	66.6	89.8	59.9	59.3	69.8	=149	601-800
=21	17	国	長岡技術科学大学	新潟県	58.5	82.2	62.9	73.3	68.5	251-300	801-1000
=21	= 24	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	–	94.9	54.6	98.9	68.5	NR	NR
23	22	私	立命館大学	京都府	47.1	96.0	66.9	68.5	68.1	301-350	801-1000
24	= 28	国	九州工業大学	福岡県	57.7	88.0	64.7	54.6	66.3	251-300	801-1000
=25	21	国	岡山大学	岡山県	63.7	91.2	64.4	–	66.1	=168	601-800
=25	33	国	横浜国立大学	神奈川県	53.3	84.5	72.9	57.3	66.1	=200	801-1000
27	NR	私	立教大学	東京都	40.7	96.2	60.9	73.9	65.8	NR	NR
28	35	私	同志社大学	京都府	43.1	96.3	64.9	64.0	65.5	351+	1001+
29	= 31	国	東京農工大学	東京都	67.7	66.8	69.6	52.4	64.8	153	601-800
30	= 31	私	東京理科大学	東京都	55.5	94.4	73.2	–	64.6	=175	601-800
31	40	私	関西学院大学	兵庫県	42.4	94.1	60.8	65.1	64.1	301-350	1001+
32	39	国	お茶の水女子大学	東京都	63.7	81.2	45.1	59.9	63.8	NR	NR
33	46	私	神田外語大学	千葉県	–	92.2	55.4	76.0	63.5	NR	NR
34	23	公	会津大学	福島県	64.8	87.0	–	72.4	63.1	131	601-800
35	34	私	明治大学	東京都	42.5	97.7	64.1	51.1	62.9	251-300	801-1000
=36	26	国	熊本大学	熊本県	64.0	83.5	49.2	47.2	62.8	184	601-800
=36	= 24	公	首都大学東京	東京都	59.6	81.1	65.3	41.9	62.8	=104	501-600
38	37	国	豊橋技術科学大学	愛知県	65.6	59.6	59.4	64.5	62.6	201-250	801-1000
=39	38	国	東京医科歯科大学	東京都	82.5	54.0	–	72.7	62.2	=60	401-500
=39	41	国	山口大学	山口県	55.8	81.6	58.6	51.4	62.2	251-300	801-1000
41	36	国	東京海洋大学	東京都	62.2	70.4	59.0	53.0	61.9	251-300	801-1000
42	= 60	国	京都工芸繊維大学	京都府	59.7	62.2	63.1	63.8	61.8	251-300	801-1000
=43	= 28	国	長崎大学	長崎県	57.0	80.6	56.7	47.2	61.1	201-250	801-1000
=43	47	公	大阪市立大学	大阪府	64.9	65.0	64.8	45.8	61.1	=185	601-800
45	57	私	関西大学	大阪府	47.8	87.9	61.3	48.1	61.0	301-350	1001+
46	52	公	横浜市立大学	神奈川県	67.5	60.9	58.4	51.3	60.7	=173	601-800
47	= 43	国	山形大学	山形県	57.4	87.5	58.6	–	60.5	201-250	801-1000
48	= 58	私	芝浦工業大学	東京都	52.1	82.0	55.4	51.6	60.4	301-350	1001+
49	54	私	近畿大学	大阪府	43.5	93.2	57.4	49.2	60.3	201-250	801-1000
50	50	私	青山学院大学	東京都	41.7	93.2	57.8	48.9	59.8	NR	NR
=51	= 55	私	中央大学	東京都	46.4	87.3	62.0	43.9	59.7	251-300	801-1000
=51	30	国	新潟大学	新潟県	51.9	83.8	61.6	39.8	59.7	201-250	801-1000
53	NR	私	法政大学	東京都	–	92.4	60.0	50.9	59.3	251-300	801-1000
54	45	国	信州大学	長野県	59.2	74.0	59.8	–	59.1	201-250	801-1000
=55	= 43	国	電気通信大学	東京都	56.5	64.9	63.1	49.9	58.7	201-250	801-1000
=55	101-110	私	津田塾大学	東京都	42.3	86.8	45.8	62.8	58.7	NR	NR
57	42	国	福井大学	福井県	62.9	65.5	52.8	47.9	58.6	301-350	1001+
58	= 68	国	秋田大学	秋田県	58.6	59.8	65.0	48.0	58.1	301-350	1001+
59	= 60	国	名古屋工業大学	愛知県	61.8	61.3	64.8	39.8	57.9	201-250	801-1000
60	= 55	私	南山大学	愛知県	–	86.8	52.6	62.7	57.7	NR	NR
61	= 68	私	学習院大学	東京都	47.0	78.1	56.2	47.6	57.0	NR	NR
62	48	公	福岡女子大学	福岡県	52.6	74.8	–	77.3	56.6	NR	NR
63	63	国	佐賀大学	佐賀県	59.6	66.4	54.6	39.9	56.4	251-300	801-1000
64	51	国	群馬大学	群馬県	62.1	63.0	59.3	–	56.2	NR	NR
65	78	公	大阪府立大学	大阪府	65.0	52.4	68.3	–	56.1	251-300	801-1000
66	= 76	私	東洋大学	東京都	–	91.6	49.6	60.2	55.9	301-350	1001+
67	53	国	宇都宮大学	栃木県	45.7	73.9	61.2	42.6	55.5	301-350	1001+
=68	74	国	鹿児島大学	鹿児島県	56.2	61.6	63.0	–	55.4	251-300	801-1000
=68	= 76	私	豊田工業大学	愛知県	76.7	–	–	51.0	55.4	NR	NR
70	49	国	埼玉大学	埼玉県	49.3	67.5	54.0	51.1	55.3	201-250	801-1000
71	= 72	国	茨城大学	茨城県	47.0	76.0	60.2	–	54.9	301-350	1001+
72	71	国	静岡大学	静岡県	51.4	67.9	57.9	40.6	54.8	251-300	801-1000
73	66	国	岩手大学	岩手県	52.0	69.9	57.6	–	54.4	251-300	801-1000
74	101-110	私	明治学院大学	東京都	–	82.4	55.3	55.2	54.3	NR	NR
=75	= 89	私	関西外国語大学	大阪府	–	79.7	54.8	66.6	54.1	NR	NR
=75	84	国	鳥取大学	鳥取県	60.5	54.4	59.1	–	54.1	301-350	1001+
=77	101-110	国	宮崎大学	宮崎県	56.2	46.7	51.4	59.9	53.5	251-300	801-1000
=77	= 99	公	名古屋市立大学	愛知県	67.6	–	61.4	–	53.5	=171	601-800
=79	= 64	国	愛媛大学	愛媛県	55.7	61.8	49.7	42.5	53.4	251-300	801-1000
=79	= 64	国	富山大学	富山県	57.1	67.0	45.7	–	53.4	251-300	801-1000
81	62	公	北九州市立大学	福岡県	–	84.2	48.0	44.2	53.2	NR	NR
82	67	私	日本大学	東京都	–	89.8	51.1	–	53.1	NR	NR
83	NR	公	神戸市外国語大学	兵庫県	–	65.7	–	83.3	52.8	NR	NR
=84	NR	公	高知工科大学	高知県	52.6	69.7	36.5	45.7	52.4	NR	NR
=84	83	私	成蹊大学	東京都	45.4	71.8	55.6	–	52.4	NR	NR
=86	= 58	公	秋田県立大学	秋田県	60.8	62.1	49.9	–	52.3	NR	NR
=86	NR	私	獨協大学	埼玉県	–	78.3	54.4	54.5	52.3	NR	NR
=88	101-110	私	武蔵大学	東京都	–	83.2	57.2	40.6	52.2	NR	NR
=88	= 80	私	龍谷大学	京都府	–	83.6	47.4	41.4	52.2	NR	NR
=88	NR	公	静岡県立大学	静岡県	57.7	67.5	36.5	–	52.2	NR	NR
91	= 97	国	香川大学	香川県	57.1	55.0	52.4	–	51.9	=175	601-800
92	121-130	私	京都外国語大学	京都府	–	58.0	42.4	90.1	51.8	NR	NR
93	= 68	私	金沢工業大学	石川県	–	89.8	60.8	–	51.7	NR	NR
=94	111-120	私	甲南大学	兵庫県	–	65.6	64.8	40.6	51.6	NR	NR
=94	79	私	東京農業大学	東京都	43.9	74.7	55.0	–	51.6	NR	NR
96	88	私	京都産業大学	京都府	–	71.2	53.0	50.7	51.2	NR	NR
97	= 72	国	岐阜大学	岐阜県	60.7	47.8	47.6	41.6	50.9	251-300	801-1000
98	111-120	私	東京女子大学	東京都	–	69.6	51.2	49.4	50.6	NR	NR
99	NR	国	琉球大学	沖縄県	51.1	51.2	57.0	40.4	50.2	NR	NR
=100	101-110	公	愛知県立大学	愛知県	42.7	62.6	39.8	56.7	50.1	NR	NR
=100	NR	私	名古屋外国語大学	愛知県	–	60.6	38.4	84.5	50.1	NR	NR
101-110	NR	私	福岡大学	福岡県	–	75.0	46.6	–	48.6-49.9	NR	NR
	NR	公	公立はこだて未来大学	北海道	49.5	60.4	40.8	44.6	48.6-49.9	NR	NR
	82	公	兵庫県立大学	兵庫県	54.6	51.4	48.6	–	48.6-49.9	301-350	1001+
	NR	私	順天堂大学	東京都	69.2	49.7	–	–	48.6-49.9	=151	601-800
	= 80	国	高知大学	高知県	57.5	56.5	39.3	–	48.6-49.9	=182	601-800
	NR	国	小樽商科大学	北海道	–	82.0	–	51.6	48.6-49.9	NR	NR
	= 97	私	西南学院大学	福岡県	–	83.9	–	52.8	48.6-49.9	NR	NR
	85	私	東海大学	神奈川県	41.1	65.2	53.0	–	48.6-49.9	251-300	801-1000
	75	国	徳島大学	徳島県	62.3	46.7	49.3	–	48.6-49.9	=194	801-1000
111-120	95	国	福島大学	福島県	43.4	67.5	37.8	–	45.4-48.2	NR	NR
	= 89	私	神奈川大学	神奈川県	–	74.8	48.2	39.7	45.4-48.2	301-350	1001+
	91	私	北里大学	神奈川県	57.9	–	62.7	–	45.4-48.2	251-300	801-1000
	96	私	名城大学	愛知県	–	66.5	48.2	–	45.4-48.2	301-350	1001+
	= 86	国	三重大学	三重県	53.1	–	51.4	39.9	45.4-48.2	251-300	801-1000
	101-110	国	室蘭工業大学	北海道	46.1	49.8	46.2	–	45.4-48.2	NR	NR
	121-130	私	名古屋商科大学	愛知県	–	73.3	–	85.7	45.4-48.2	NR	NR
	= 93	国	大分大学	大分県	56.8	–	47.4	–	45.4-48.2	301-350	1001+
	= 93	国	島根大学	島根県	54.0	49.2	46.4	–	45.4-48.2	251-300	801-1000
	111-120	公	富山県立大学	富山県	53.4	57.2	48.4	–	45.4-48.2	NR	NR
121-130	NR	私	愛知大学	愛知県	–	71.4	–	58.0	44.6-45.3	NR	NR
	111-120	私	福岡工業大学	福岡県	–	70.6	–	–	44.6-45.3	NR	NR
	111-120	私	桜美林大学	東京都	–	71.7	–	60.9	44.6-45.3	NR	NR
	101-110	私	麗澤大学	千葉県	–	–	47.2	80.6	44.6-45.3	NR	NR
	101-110	私	専修大学	東京都	–	71.8	52.3	–	44.6-45.3	NR	NR
	NR	私	創価大学	東京都	–	–	57.4	73.3	44.6-45.3	NR	NR
	= 99	私	玉川大学	東京都	–	57.6	49.6	–	44.6-45.3	NR	NR
	101-110	私	東北学院大学	宮城県	–	70.0	49.9	–	44.6-45.3	NR	NR
	121-130	私	東京電機大学	東京都	–	58.9	55.4	–	44.6-45.3	351+	1001+
	= 86	国	山梨大学	山梨県	58.0	–	49.0	–	44.6-45.3	201-250	801-1000
131-140	121-130	私	千葉工業大学	千葉県	–	67.6	46.6	–	42.6-44.5	351+	1001+
	121-130	私	中京大学	愛知県	–	57.6	46.1	42.5	42.6-44.5	NR	NR
	NR	私	同志社女子大学	京都府	–	60.7	–	57.7	42.6-44.5	NR	NR
	NR	公	福井県立大学	福井県	47.7	–	57.8	–	42.6-44.5	NR	NR
	131-140	私	工学院大学	東京都	50.5	–	52.6	–	42.6-44.5	301-350	1001+
	131-140	私	宮崎国際大学	宮崎県	42.3	48.1	–	82.4	42.6-44.5	NR	NR
	121-130	公	長崎県立大学	長崎県	–	63.2	–	50.4	42.6-44.5	NR	NR
	NR	公	新潟県立大学	新潟県	–	53.8	–	65.1	42.6-44.5	NR	NR
	NR	私	昭和大学	東京都	64.6	–	57.5	–	42.6-44.5	251-300	801-1000
	NR	私	昭和女子大学	東京都	–	59.0	–	56.9	42.6-44.5	NR	NR
141-150	111-120	公	福島県立医科大学	福島県	75.8	–	–	–	41.5-42.5	NR	NR
	92	国	浜松医科大学	静岡県	81.2	–	–	–	41.5-42.5	251-300	801-1000
	121-130	公	広島市立大学	広島県	48.7	–	–	41.0	41.5-42.5	NR	NR
	NR	私	国際医療福祉大学	栃木県	41.6	62.6	–	–	41.5-42.5	NR	NR
	NR	私	日本女子大学	東京都	44.0	–	46.9	–	41.5-42.5	NR	NR
	141-150	私	駒澤大学	東京都	–	64.8	52.3	–	41.5-42.5	NR	NR
	NR	公	県立広島大学	広島県	50.1	–	38.0	42.6	41.5-42.5	NR	NR
	111-120	公	札幌医科大学	北海道	78.6	–	–	–	41.5-42.5	NR	NR
	NR	国	滋賀大学	滋賀県	–	46.4	47.5	40.0	41.5-42.5	NR	NR
	131-140	国	滋賀医科大学	滋賀県	79.7	–	–	–	41.5-42.5	201-250	801-1000
	101-110	私	東邦大学	東京都	60.5	–	43.9	–	41.5-42.5	NR	NR

分野別ランキング 教育リソース

＊ 同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています
＊ ＝：同順位の大学あり／NR：ランクインしていない
＊ 前年エントリーしなかった大学が今年エントリーし、前年順位がNRになっている場合があります

2018順位	2017順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources
1	2	国	東京大学	東京都	85.4
2	3	国	京都大学	京都府	84.7
3	4	国	東北大学	宮城県	83.4
4	1	国	東京医科歯科大学	東京都	82.5
5	5	国	浜松医科大学	静岡県	81.2
6	12	国	滋賀医科大学	滋賀県	79.7
7	13	私	兵庫医科大学	兵庫県	79.6
8	NR	私	東京医科大学	東京都	79.5
9	10	公	札幌医科大学	北海道	78.6
10	8	国	大阪大学	大阪府	77.9
11	6	国	東京工業大学	東京都	77.6
12	7	私	豊田工業大学	愛知県	76.7
13	15	国	旭川医科大学	北海道	76.4
14	19	私	日本医科大学	東京都	76.3
15	14	公	奈良県立医科大学	奈良県	76.1
16	18	公	福島県立医科大学	福島県	75.8
17	16	国	北海道大学	北海道	75.3
18	20	国	筑波大学	茨城県	75.0
19	11	国	九州大学	福岡県	74.8
20	17	私	大阪医科大学	大阪府	74.3
21	NR	私	愛知医科大学	愛知県	73.8
22	=22	私	関西医科大学	大阪府	73.2
=23	9	国	名古屋大学	愛知県	72.3
=23	NR	私	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	72.3
25	=22	私	東京慈恵会医科大学	東京都	71.3
26	21	私	金沢医科大学	石川県	70.7
27	NR	私	順天堂大学	東京都	69.2
28	=28	国	東京農工大学	東京都	67.7
=29	33	国	広島大学	広島県	67.6
=29	27	公	名古屋市立大学	愛知県	67.6
31	=28	公	横浜市立大学	神奈川県	67.5
32	32	国	金沢大学	石川県	66.6
33	26	国	豊橋技術科学大学	愛知県	65.6
34	44	公	大阪府立大学	大阪府	65.0
35	41	公	大阪市立大学	大阪府	64.9
36	57	公	会津大学	福島県	64.8
37	=37	私	昭和大学	東京都	64.6
38	=37	国	神戸大学	兵庫県	64.2
39	35	国	熊本大学	熊本県	64.0
=40	46	国	岡山大学	岡山県	63.7
=40	50	国	お茶の水女子大学	東京都	63.7
42	40	国	千葉大学	千葉県	63.5
43	42	私	藤田保健衛生大学	愛知県	63.4
44	30	国	福井大学	福井県	62.9
45	36	私	埼玉医科大学	埼玉県	62.7
46	34	国	徳島大学	徳島県	62.3
47	55	国	東京海洋大学	東京都	62.2
48	39	国	群馬大学	群馬県	62.1
49	64	国	名古屋工業大学	愛知県	61.8
50	=61	公	秋田県立大学	秋田県	60.8
51	48	国	岐阜大学	岐阜県	60.7
=52	=61	国	鳥取大学	鳥取県	60.5
=52	58	私	東邦大学	東京都	60.5
54	NR	公	石川県立大学	石川県	60.3
55	49	国	筑波技術大学	茨城県	60.0
=56	=53	私	慶應義塾大学	東京都	59.7
=56	70	国	京都工芸繊維大学	京都府	59.7
=56	83	公	茨城県立医療大学	茨城県	59.7
=59	=53	公	首都大学東京	東京都	59.6
=59	=68	国	佐賀大学	佐賀県	59.6
61	=59	国	信州大学	長野県	59.2
62	65	国	秋田大学	秋田県	58.6
63	47	国	長岡技術科学大学	新潟県	58.5
=64	31	国	山梨大学	山梨県	58.0
=64	45	公	九州歯科大学	福岡県	58.0
66	56	私	北里大学	神奈川県	57.9
=67	80	国	九州工業大学	福岡県	57.7
=67	NR	公	静岡県立大学	静岡県	57.7
69	=61	国	高知大学	高知県	57.5
70	=75	国	山形大学	山形県	57.4
=71	78	国	富山大学	富山県	57.1
=71	=73	国	香川大学	香川県	57.1
73	43	国	長崎大学	長崎県	57.0
74	84	国	大分大学	大分県	56.8
75	51	国	電気通信大学	東京都	56.5
=76	77	国	鹿児島大学	鹿児島県	56.2
=76	=59	国	宮崎大学	宮崎県	56.2
=76	NR	私	産業医科大学	福岡県	56.2
79	=81	国	山口大学	山口県	55.8
=80	71	国	愛媛大学	愛媛県	55.7
=80	=81	私	星薬科大学	東京都	55.7
82	72	国	奈良女子大学	奈良県	55.6
83	93	私	東京理科大学	東京都	55.5
=84	NR	私	神奈川歯科大学	神奈川県	54.7
=84	85	私	京都薬科大学	京都府	54.7
86	89	公	兵庫県立大学	兵庫県	54.6
87	=75	国	島根大学	島根県	54.0
88	NR	公	京都府立大学	京都府	53.9
89	86	私	早稲田大学	東京都	53.6
90	79	公	富山県立大学	富山県	53.4
91	87	国	横浜国立大学	神奈川県	53.3
92	67	国	三重大学	三重県	53.1
=93	101-110	公	福岡女子大学	福岡県	52.6
=93	NR	公	高知工科大学	高知県	52.6
95	101-110	私	芝浦工業大学	東京都	52.1
=96	88	私	国際基督教大学	東京都	52.0
=96	=73	国	岩手大学	岩手県	52.0
=98	=99	国	一橋大学	東京都	51.9
=98	52	国	新潟大学	新潟県	51.9
100	96	国	静岡大学	静岡県	51.4
101	NR	国	琉球大学	沖縄県	51.1
102	101-110	公	岩手県立大学	岩手県	50.6
103	101-110	私	工学院大学	東京都	50.5
104	101-110	公	県立広島大学	広島県	50.1
105	NR	公	公立はこだて未来大学	北海道	49.5
106	94	国	埼玉大学	埼玉県	49.3
107	121-130	公	滋賀県立大学	滋賀県	49.2
108	NR	公	岡山県立大学	岡山県	49.0
109	101-110	私	大阪薬科大学	大阪府	48.8
110	101-110	公	広島市立大学	広島県	48.7
=111	98	私	麻布大学	神奈川県	48.6
=111	NR	国	兵庫教育大学	兵庫県	48.6
=111	NR	国	上越教育大学	新潟県	48.6
114	131-140	私	関西大学	大阪府	47.8
=115	NR	公	福井県立大学	福井県	47.7
=115	111-120	国	北見工業大学	北海道	47.7
117	111-120	公	国際教養大学	秋田県	47.3
118	=99	私	立命館大学	京都府	47.1
=119	111-120	私	学習院大学	東京都	47.0
=119	111-120	国	茨城大学	茨城県	47.0
121	131-140	私	中央大学	東京都	46.4
=122	121-130	国	室蘭工業大学	北海道	46.1
=122	111-120	国	宮城教育大学	宮城県	46.1
124	131-140	私	上智大学	東京都	46.0
125	=90	国	宇都宮大学	栃木県	45.7
=126	NR	国	東京外国語大学	東京都	45.4
=126	141-150	私	成蹊大学	東京都	45.4
128	111-120	私	久留米大学	福岡県	45.1
129	131-140	国	大阪教育大学	大阪府	44.9
130	131-140	国	和歌山大学	和歌山県	44.4
131	NR	私	日本女子大学	東京都	44.0
=132	141-150	私	東京農業大学	東京都	43.9
=132	111-120	公	群馬県立県民健康科学大学	群馬県	43.9
=134	121-130	私	近畿大学	大阪府	43.5
=134	131-140	公	埼玉県立大学	埼玉県	43.5
136	141-150	国	福島大学	福島県	43.4
137	121-130	私	同志社大学	京都府	43.1
138	141-150	公	愛知県立大学	愛知県	42.7
139	111-120	私	明治大学	東京都	42.5
140	NR	私	関西学院大学	兵庫県	42.4
=141	NR	私	津田塾大学	東京都	42.3
=141	111-120	私	宮崎国際大学	宮崎県	42.3
=141	141-150	国	愛知教育大学	愛知県	42.3
=144	131-140	私	青山学院大学	東京都	41.7
=144	121-130	私	朝日大学	岐阜県	41.7
=146	NR	私	国際医療福祉大学	栃木県	41.6
=146	121-130	公	名寄市立大学	北海道	41.6
148	NR	私	東海大学	神奈川県	41.1
149	131-140	私	兵庫医療大学	兵庫県	40.8
150	NR	私	立教大学	東京都	40.7

分野別ランキング 教育充実度

＊ 同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています
＊ ＝：同順位の大学あり／NR：ランクインしていない
＊ 前年エントリーしなかった大学が今年エントリーし、前年順位がNRになっている場合があります

2018順位	2017順位	区分	教育機関	都道府県	教育充実度 Engagement
1	1	公	国際教養大学	秋田県	99.8
2	2	国	東京大学	東京都	99.7
=3	=3	国	京都大学	京都府	99.6
=3	=3	国	東北大学	宮城県	99.6
5	5	私	早稲田大学	東京都	99.2
6	6	私	慶應義塾大学	東京都	99.1
7	7	国	筑波大学	茨城県	98.6
8	8	国	大阪大学	大阪府	98.5
9	=10	国	九州大学	福岡県	98.4
=10	9	国	東京工業大学	東京都	98.1
=10	=10	私	国際基督教大学	東京都	98.1
=12	13	国	名古屋大学	愛知県	97.7
=12	12	私	上智大学	東京都	97.7
=12	14	私	明治大学	東京都	97.7
15	15	国	北海道大学	北海道	97.4
16	17	国	広島大学	広島県	97.1
17	16	国	一橋大学	東京都	96.6
18	18	私	同志社大学	京都府	96.3
19	NR	私	立教大学	東京都	96.2
20	19	私	立命館大学	京都府	96.0
21	20	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	94.9
22	26	私	東京理科大学	東京都	94.4
23	24	私	関西学院大学	兵庫県	94.1
=24	22	国	東京外国語大学	東京都	93.9
=24	21	国	千葉大学	千葉県	93.9
=26	23	私	近畿大学	大阪府	93.2
=26	25	私	青山学院大学	東京都	93.2
28	=27	国	神戸大学	兵庫県	92.9
29	NR	私	法政大学	東京都	92.4
30	=27	私	神田外語大学	千葉県	92.2
31	30	私	東洋大学	東京都	91.6
32	32	国	岡山大学	岡山県	91.2
=33	29	国	金沢大学	石川県	89.8
=33	31	私	日本大学	東京都	89.8
=33	35	私	金沢工業大学	石川県	89.8
36	=39	国	九州工業大学	福岡県	88.0
37	34	私	関西大学	大阪府	87.9
38	37	国	山形大学	山形県	87.5
39	36	私	中央大学	東京都	87.3
40	=39	公	会津大学	福島県	87.0
=41	38	私	津田塾大学	東京都	86.8
=41	33	私	南山大学	愛知県	86.8
43	46	国	横浜国立大学	神奈川県	84.5
44	43	公	北九州市立大学	福岡県	84.2
45	45	私	西南学院大学	福岡県	83.9
46	41	国	新潟大学	新潟県	83.8
47	44	私	龍谷大学	京都府	83.6
48	52	国	熊本大学	熊本県	83.5
49	49	私	武蔵大学	東京都	83.2
50	=47	私	明治学院大学	東京都	82.4
51	42	国	長岡技術科学大学	新潟県	82.2
=52	51	私	芝浦工業大学	東京都	82.0
=52	NR	国	小樽商科大学	北海道	82.0
54	50	国	山口大学	山口県	81.6
55	56	国	お茶の水女子大学	東京都	81.2
56	=47	公	首都大学東京	東京都	81.1
57	54	国	長崎大学	長崎県	80.6
58	63	私	関西外国語大学	大阪府	79.7
59	NR	私	獨協大学	埼玉県	78.3
60	53	私	学習院大学	東京都	78.1
61	58	国	茨城大学	茨城県	76.0
62	57	公	都留文科大学	山梨県	75.2
63	NR	私	福岡大学	福岡県	75.0
=64	=70	公	福岡女子大学	福岡県	74.8
=64	60	私	神奈川大学	神奈川県	74.8
66	55	私	東京農業大学	東京都	74.7
67	61	国	信州大学	長野県	74.0
68	59	国	宇都宮大学	栃木県	73.9
69	67	私	名古屋商科大学	愛知県	73.3
=70	=65	私	成蹊大学	東京都	71.8
=70	=65	私	専修大学	東京都	71.8
72	62	私	桜美林大学	東京都	71.7
73	NR	私	愛知大学	愛知県	71.4
74	77	私	京都産業大学	京都府	71.2
75	64	私	福岡工業大学	福岡県	70.6
76	68	国	東京海洋大学	東京都	70.4
77	74	私	東北学院大学	宮城県	70.0
78	84	国	岩手大学	岩手県	69.9
79	NR	公	高知工科大学	高知県	69.7
80	87	私	東京女子大学	東京都	69.6
81	69	公	高崎経済大学	群馬県	68.4
82	83	国	静岡大学	静岡県	67.9
83	=78	私	千葉工業大学	千葉県	67.6
=84	=70	国	埼玉大学	埼玉県	67.5
=84	NR	公	静岡県立大学	静岡県	67.5
=84	=95	国	福島大学	福島県	67.5
87	93	国	富山大学	富山県	67.0
88	=88	国	東京農工大学	東京都	66.8
89	=78	私	名城大学	愛知県	66.5
90	=90	国	佐賀大学	佐賀県	66.4
91	NR	公	神戸市外国語大学	兵庫県	65.7
92	=78	私	甲南大学	兵庫県	65.6
93	73	国	福井大学	福井県	65.5
94	72	私	東海大学	神奈川県	65.2
95	92	公	大阪市立大学	大阪府	65.0
96	76	国	電気通信大学	東京都	64.9
97	=88	私	駒澤大学	東京都	64.8
98	=78	公	長崎県立大学	長崎県	63.2
99	75	国	群馬大学	群馬県	63.0
=100	=78	公	愛知県立大学	愛知県	62.6
=100	98	私	国際医療福祉大学	栃木県	62.6
102	101-110	国	京都工芸繊維大学	京都府	62.2
103	=85	公	秋田県立大学	秋田県	62.1
104	97	国	愛媛大学	愛媛県	61.8
105	99	国	鹿児島大学	鹿児島県	61.6
106	=95	私	國學院大學	東京都	61.5
107	111-120	国	名古屋工業大学	愛知県	61.3
=108	94	公	横浜市立大学	神奈川県	60.9
=108	NR	公	下関市立大学	山口県	60.9
110	NR	私	同志社女子大学	京都府	60.7
111	NR	私	名古屋外国語大学	愛知県	60.6
112	NR	公	公立はこだて未来大学	北海道	60.4
113	111-120	国	秋田大学	秋田県	59.8
114	101-110	国	豊橋技術科学大学	愛知県	59.6
115	131-140	私	昭和女子大学	東京都	59.0
116	131-140	私	東京電機大学	東京都	58.9
117	111-120	私	京都外国語大学	京都府	58.0
=118	=90	私	玉川大学	東京都	57.6
=118	101-110	私	中京大学	愛知県	57.6
120	100	公	富山県立大学	富山県	57.2
121	101-110	公	宮崎公立大学	宮崎県	56.8
122	121-130	国	高知大学	高知県	56.5
123	101-110	私	広島修道大学	広島県	55.8
124	111-120	公	群馬県立女子大学	群馬県	55.4
125	101-110	国	香川大学	香川県	55.0
126	141-150	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県	54.8
127	131-140	国	鳥取大学	鳥取県	54.4
128	121-130	私	文教大学	東京都	54.1
=129	131-140	国	東京医科歯科大学	東京都	54.0
=129	111-120	私	北星学園大学	北海道	54.0
131	101-110	公	新潟県立大学	新潟県	53.8
132	121-130	私	神戸女学院大学	兵庫県	53.6
133	NR	国	北海道教育大学	北海道	53.4
134	111-120	私	岡山理科大学	岡山県	52.9
135	NR	公	大阪府立大学	大阪府	52.4
136	141-150	公	岩手県立大学	岩手県	51.5
137	101-110	公	兵庫県立大学	兵庫県	51.4
138	NR	国	琉球大学	沖縄県	51.2
=139	NR	公	名桜大学	沖縄県	50.3
=139	111-120	国	東京藝術大学	東京都	50.3
141	NR	国	室蘭工業大学	北海道	49.8
142	NR	私	順天堂大学	東京都	49.7
143	NR	国	島根大学	島根県	49.2
144	131-140	私	広島工業大学	広島県	48.2
145	101-110	私	宮崎国際大学	宮崎県	48.1
146	121-130	国	岐阜大学	岐阜県	47.8
147	NR	私	成城大学	東京都	47.4
=148	111-120	国	宮崎大学	宮崎県	46.7
=148	131-140	国	徳島大学	徳島県	46.7
150	NR	国	滋賀大学	滋賀県	46.4

分野別ランキング 教育成果

＊ 同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています
＊ ＝：同順位の大学あり／NR：ランクインしていない
＊ 前年エントリーしなかった大学が今年エントリーし、前年順位がNRになっている場合があります

2018順位	2017順位	区分	教育機関	都道府県	教育成果 Outcomes
1	1	国	東京大学	東京都	98.9
2	=2	国	京都大学	京都府	98.6
3	9	国	九州大学	福岡県	97.7
4	5	私	慶應義塾大学	東京都	97.2
=5	4	国	東北大学	宮城県	95.6
=5	6	国	名古屋大学	愛知県	95.6
7	=2	国	大阪大学	大阪府	95.4
8	8	国	北海道大学	北海道	94.8
9	7	国	東京工業大学	東京都	94.7
10	10	私	早稲田大学	東京都	93.8
11	11	国	一橋大学	東京都	89.1
12	12	国	筑波大学	茨城県	88.1
13	14	国	広島大学	広島県	76.6
14	15	私	東京理科大学	東京都	73.2
15	25	国	横浜国立大学	神奈川県	72.9
16	16	国	千葉大学	千葉県	72.0
17	22	公	国際教養大学	秋田県	70.6
18	23	国	東京農工大学	東京都	69.6
19	18	私	上智大学	東京都	69.4
20	13	国	神戸大学	兵庫県	69.3
21	=32	公	大阪府立大学	大阪府	68.3
22	17	私	立命館大学	京都府	66.9
23	21	公	首都大学東京	東京都	65.3
24	=83	国	秋田大学	秋田県	65.0
25	27	私	同志社大学	京都府	64.9
=26	=32	公	大阪市立大学	大阪府	64.8
=26	42	国	名古屋工業大学	愛知県	64.8
=26	121-130	私	甲南大学	兵庫県	64.8
29	30	国	九州工業大学	福岡県	64.7
30	24	国	岡山大学	岡山県	64.4
31	85	国	東京外国語大学	東京都	64.3
32	=34	私	明治大学	東京都	64.1
=33	46	国	京都工芸繊維大学	京都府	63.1
=33	=88	国	電気通信大学	東京都	63.1
35	38	国	鹿児島大学	鹿児島県	63.0
36	=34	国	長岡技術科学大学	新潟県	62.9
37	90	私	北里大学	神奈川県	62.7
38	=44	私	中央大学	東京都	62.0
39	28	国	新潟大学	新潟県	61.6
40	NR	公	名古屋市立大学	愛知県	61.4
41	=47	私	関西大学	大阪府	61.3
42	=67	国	宇都宮大学	栃木県	61.2
43	NR	私	立教大学	東京都	60.9
=44	40	私	関西学院大学	兵庫県	60.8
=44	19	私	金沢工業大学	石川県	60.8
46	=72	私	大阪工業大学	大阪府	60.6
47	=62	国	茨城大学	茨城県	60.2
48	NR	私	法政大学	東京都	60.0
49	29	国	金沢大学	石川県	59.9
50	=58	国	信州大学	長野県	59.8
51	=74	国	豊橋技術科学大学	愛知県	59.4
52	=88	国	群馬大学	群馬県	59.3
53	=94	国	鳥取大学	鳥取県	59.1
54	31	国	東京海洋大学	東京都	59.0
=55	=47	国	山口大学	山口県	58.6
=55	=78	国	山形大学	山形県	58.6
57	=86	公	横浜市立大学	神奈川県	58.4
58	=44	国	静岡大学	静岡県	57.9
=59	=54	私	青山学院大学	東京都	57.8
=59	NR	公	福井県立大学	福井県	57.8
61	=91	国	岩手大学	岩手県	57.6
62	NR	私	昭和大学	東京都	57.5
=63	37	私	近畿大学	大阪府	57.4
=63	111-120	私	創価大学	東京都	57.4
65	141-150	私	武蔵大学	東京都	57.2
66	NR	国	琉球大学	沖縄県	57.0
67	100	私	京都薬科大学	京都府	56.9
68	=69	国	長崎大学	長崎県	56.7
69	=60	私	学習院大学	東京都	56.2
70	=67	私	成蹊大学	東京都	55.6
=71	=98	私	神田外語大学	千葉県	55.4
=71	=49	私	芝浦工業大学	東京都	55.4
=71	=49	私	東京電機大学	東京都	55.4
74	121-130	私	明治学院大学	東京都	55.3
75	=52	私	東京農業大学	東京都	55.0
76	101-110	私	関西外国語大学	大阪府	54.8
=77	39	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	54.6
=77	=78	国	佐賀大学	佐賀県	54.6
79	NR	私	獨協大学	埼玉県	54.4
80	=52	国	埼玉大学	埼玉県	54.0
=81	=69	私	京都産業大学	京都府	53.0
=81	=34	私	東海大学	神奈川県	53.0
83	=98	国	福井大学	福井県	52.8
=84	=60	私	南山大学	愛知県	52.6
=84	=74	私	工学院大学	東京都	52.6
86	141-150	国	香川大学	香川県	52.4
=87	=64	私	専修大学	東京都	52.3
=87	121-130	私	駒澤大学	東京都	52.3
=89	NR	国	宮崎大学	宮崎県	51.4
=89	=86	国	三重大学	三重県	51.4
91	141-150	私	東京女子大学	東京都	51.2
92	41	私	日本大学	東京都	51.1
93	NR	私	帝京大学	東京都	50.6
94	57	私	東京都市大学	東京都	50.0
=95	101-110	公	秋田県立大学	秋田県	49.9
=95	=74	私	東北学院大学	宮城県	49.9
97	56	国	愛媛大学	愛媛県	49.7
=98	71	私	東洋大学	東京都	49.6
=98	97	私	玉川大学	東京都	49.6
100	93	国	徳島大学	徳島県	49.3
101	26	国	熊本大学	熊本県	49.2
102	=91	国	山梨大学	山梨県	49.0
103	101-110	公	滋賀県立大学	滋賀県	48.7
104	=58	公	兵庫県立大学	兵庫県	48.6
105	NR	公	富山県立大学	富山県	48.4
106	=78	私	東京経済大学	東京都	48.3
=107	=64	私	神奈川大学	神奈川県	48.2
=107	81	私	名城大学	愛知県	48.2
109	43	公	北九州市立大学	福岡県	48.0
110	=49	国	岐阜大学	岐阜県	47.6
111	NR	国	滋賀大学	滋賀県	47.5
=112	=62	私	龍谷大学	京都府	47.4
=112	101-110	国	大分大学	大分県	47.4
114	111-120	私	麗澤大学	千葉県	47.2
115	NR	私	日本女子大学	東京都	46.9
=116	NR	私	福岡大学	福岡県	46.6
=116	131-140	私	千葉工業大学	千葉県	46.6
=116	NR	私	武蔵野大学	東京都	46.6
119	101-110	国	島根大学	島根県	46.4
120	101-110	国	室蘭工業大学	北海道	46.2
121	=64	私	中京大学	愛知県	46.1
122	NR	私	津田塾大学	東京都	45.8
123	=54	国	富山大学	富山県	45.7
124	111-120	国	お茶の水女子大学	東京都	45.1
125	121-130	私	広島工業大学	広島県	45.0
126	20	私	国際基督教大学	東京都	44.4
127	131-140	私	大東文化大学	東京都	44.2
128	96	私	東邦大学	東京都	43.9
129	=74	私	中部大学	愛知県	43.8
130	141-150	私	文教大学	東京都	43.4
131	NR	公	京都府立大学	京都府	42.8
=132	NR	私	日本福祉大学	愛知県	42.6
=132	NR	私	日本獣医生命科学大学	東京都	42.6
134	NR	私	武蔵野美術大学	東京都	42.5
135	NR	私	京都外国語大学	京都府	42.4
=136	NR	私	麻布大学	神奈川県	42.2
=136	131-140	私	多摩美術大学	東京都	42.2
138	NR	公	公立はこだて未来大学	北海道	40.8
139	131-140	私	國學院大學	東京都	40.4
140	141-150	公	愛知県立大学	愛知県	39.8
141	101-110	私	明星大学	東京都	39.4
=142	101-110	国	高知大学	高知県	39.3
=142	101-110	私	久留米大学	福岡県	39.3
144	NR	私	名古屋外国語大学	愛知県	38.4
=145	NR	公	県立広島大学	広島県	38.0
=145	NR	公	岡山県立大学	岡山県	38.0
=147	101-110	国	福島大学	福島県	37.8
=147	NR	私	横浜商科大学	神奈川県	37.8
=149	NR	公	高知工科大学	高知県	36.5
=149	NR	公	静岡県立大学	静岡県	36.5

分野別ランキング 国際性

＊ 同順位の場合は、総合ランキング順に掲載しています
＊ ＝：同順位の大学あり／NR：ランクインしていない
＊ 前年エントリーしなかった大学が今年エントリーし、前年順位がNRになっている場合があります

2018順位	2017順位	区分	教育機関	都道府県	国際性 Environment
1	13	公	国際教養大学	秋田県	100.0
2	1	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	98.9
3	9	私	国際基督教大学	東京都	96.8
4	6	国	東京外国語大学	東京都	91.5
5	5	私	上智大学	東京都	90.9
6	20	私	京都外国語大学	京都府	90.1
7	=28	私	名古屋商科大学	愛知県	85.7
8	NR	私	名古屋外国語大学	愛知県	84.5
9	3	私	東京国際大学	埼玉県	84.0
10	NR	公	神戸市外国語大学	兵庫県	83.3
11	101-110	私	宮崎国際大学	宮崎県	82.4
12	4	私	麗澤大学	千葉県	80.6
13	NR	私	城西国際大学	千葉県	78.6
14	7	公	福岡女子大学	福岡県	77.3
15	19	私	神田外語大学	千葉県	76.0
16	2	私	大阪経済法科大学	大阪府	74.8
17	45	国	東京工業大学	東京都	74.1
18	NR	私	立教大学	東京都	73.9
19	=17	私	早稲田大学	東京都	73.6
=20	25	国	長岡技術科学大学	新潟県	73.3
=20	53	私	創価大学	東京都	73.3
22	=30	国	一橋大学	東京都	73.2
23	93	国	東京医科歯科大学	東京都	72.7
24	12	公	会津大学	福島県	72.4
25	11	私	亜細亜大学	東京都	72.3
26	44	国	九州大学	福岡県	72.2
27	22	私	梅光学院大学	山口県	71.8
28	=35	私	大阪女学院大学	大阪府	70.9
29	NR	私	大阪観光大学	大阪府	68.7
30	=35	私	立命館大学	京都府	68.5
31	27	私	共愛学園前橋国際大学	群馬県	67.8
=32	=59	国	北海道大学	北海道	67.4
=32	26	国	名古屋大学	愛知県	67.4
34	10	私	北陸大学	石川県	66.8
35	=35	私	関西外国語大学	大阪府	66.6
36	58	国	京都大学	京都府	66.3
=37	48	私	関西学院大学	兵庫県	65.1
=37	73	公	新潟県立大学	新潟県	65.1
39	54	国	東京大学	東京都	65.0
40	=41	国	東北大学	宮城県	64.6
41	79	国	豊橋技術科学大学	愛知県	64.5
42	=51	私	恵泉女学園大学	東京都	64.4
43	61	私	同志社大学	京都府	64.0
44	121-130	国	京都工芸繊維大学	京都府	63.8
45	=39	私	沖縄キリスト教学院大学	沖縄県	63.2
46	141-150	私	津田塾大学	東京都	62.8
47	34	私	南山大学	愛知県	62.7
48	121-130	私	慶應義塾大学	東京都	61.0
49	=30	私	桜美林大学	東京都	60.9
50	62	国	広島大学	広島県	60.6
51	121-130	私	東洋大学	東京都	60.2
52	21	国	筑波大学	茨城県	60.0
=53	88	国	お茶の水女子大学	東京都	59.9
=53	NR	国	宮崎大学	宮崎県	59.9
55	121-130	公	群馬県立女子大学	群馬県	59.6
56	NR	国	金沢大学	石川県	59.3
57	65	公	宮崎公立大学	宮崎県	58.7
=58	NR	私	愛知大学	愛知県	58.0
=58	=23	私	デジタルハリウッド大学	東京都	58.0
60	NR	私	静岡英和学院大学	静岡県	57.8
61	NR	私	同志社女子大学	京都府	57.7
62	8	私	山梨学院大学	山梨県	57.6
63	70	国	横浜国立大学	神奈川県	57.3
64	111-120	私	昭和女子大学	東京都	56.9
65	101-110	公	愛知県立大学	愛知県	56.7
66	121-130	私	神戸女学院大学	兵庫県	56.6
67	78	私	崇城大学	熊本県	56.0
68	101-110	私	明治学院大学	東京都	55.2
69	=49	国	東京藝術大学	東京都	55.1
70	90	国	九州工業大学	福岡県	54.6
71	NR	私	獨協大学	埼玉県	54.5
72	=83	国	神戸大学	兵庫県	54.4
73	NR	私	関西国際大学	兵庫県	53.6
74	NR	私	福岡女学院大学	福岡県	53.5
75	15	私	明海大学	千葉県	53.2
76	=83	国	東京海洋大学	東京都	53.0
77	69	私	西南学院大学	福岡県	52.8
78	111-120	国	東京農工大学	東京都	52.4
=79	NR	私	芝浦工業大学	東京都	51.6
=79	NR	国	小樽商科大学	北海道	51.6
81	74	私	京都ノートルダム女子大学	京都府	51.5
82	NR	国	山口大学	山口県	51.4
83	NR	公	横浜市立大学	神奈川県	51.3
=84	76	私	明治大学	東京都	51.1
=84	56	国	埼玉大学	埼玉県	51.1
86	NR	私	豊田工業大学	愛知県	51.0
87	NR	私	法政大学	東京都	50.9
=88	111-120	国	千葉大学	千葉県	50.7
=88	=66	私	京都産業大学	京都府	50.7
90	71	公	長崎県立大学	長崎県	50.4
91	14	私	神戸国際大学	兵庫県	50.3
92	81	国	電気通信大学	東京都	49.9
93	=39	国	大阪大学	大阪府	49.8
94	111-120	私	天理大学	奈良県	49.6
95	43	私	羽衣国際大学	大阪府	49.5
=96	80	私	東京女子大学	東京都	49.4
=96	NR	公	名桜大学	沖縄県	49.4
98	NR	私	近畿大学	大阪府	49.2
99	121-130	私	東北公益文科大学	山形県	49.0
100	111-120	私	青山学院大学	東京都	48.9
101	33	私	長崎国際大学	長崎県	48.4
102	NR	私	関西大学	大阪府	48.1
103	121-130	国	秋田大学	秋田県	48.0
104	NR	国	福井大学	福井県	47.9
105	=96	私	広島女学院大学	広島県	47.7
106	NR	私	学習院大学	東京都	47.6
=107	NR	国	熊本大学	熊本県	47.2
=107	111-120	国	長崎大学	長崎県	47.2
=107	=83	私	武蔵野大学	東京都	47.2
=110	77	私	阪南大学	大阪府	46.2
=110	NR	私	茨城キリスト教大学	茨城県	46.2
=110	32	私	大阪産業大学	大阪府	46.2
113	86	私	新潟国際情報大学	新潟県	46.1
114	NR	公	下関市立大学	山口県	46.0
115	NR	公	大阪市立大学	大阪府	45.8
116	NR	公	高知工科大学	高知県	45.7
117	75	私	筑紫女学園大学	福岡県	45.6
118	NR	公	山梨県立大学	山梨県	45.2
119	=66	私	桃山学院大学	大阪府	45.0
120	NR	公	公立はこだて未来大学	北海道	44.6
121	=17	私	名古屋経済大学	愛知県	44.5
122	=49	公	北九州市立大学	福岡県	44.2
123	141-150	私	中央大学	東京都	43.9
124	101-110	私	広島修道大学	広島県	43.6
125	16	私	聖学院大学	埼玉県	43.4
126	=99	私	武蔵野美術大学	東京都	42.9
127	NR	私	神戸女子大学	兵庫県	42.7
=128	121-130	国	宇都宮大学	栃木県	42.6
=128	NR	公	県立広島大学	広島県	42.6
=130	NR	国	愛媛大学	愛媛県	42.5
=130	NR	私	中京大学	愛知県	42.5
132	111-120	公	首都大学東京	東京都	41.9
133	NR	国	岐阜大学	岐阜県	41.6
=134	131-140	私	龍谷大学	京都府	41.4
=134	101-110	私	白鷗大学	栃木県	41.4
=136	131-140	公	広島市立大学	広島県	41.0
=136	NR	国	和歌山大学	和歌山県	41.0
=138	131-140	国	静岡大学	静岡県	40.6
=138	NR	私	武蔵大学	東京都	40.6
=138	121-130	私	甲南大学	兵庫県	40.6
141	131-140	私	北星学園大学	北海道	40.5
142	NR	国	琉球大学	沖縄県	40.4
143	NR	国	滋賀大学	滋賀県	40.0
=144	NR	国	佐賀大学	佐賀県	39.9
=144	NR	国	三重大学	三重県	39.9
=146	NR	国	新潟大学	新潟県	39.8
=146	101-110	国	名古屋工業大学	愛知県	39.8
=146	141-150	私	大東文化大学	東京都	39.8
=149	121-130	私	神奈川大学	神奈川県	39.7
=149	NR	私	佛教大学	京都府	39.7

地域別ランキング

＊ 総合ランキングで150位以内にランクインしている大学を掲載しています
＊ 同順位の場合は、原則として英文表記の大学名のアルファベット順に掲載しています
＊ ＝：同順位の大学あり／－：各分野の順位が151位以下のためスコア非表示

北海道・東北
北海道／青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	東北大学	宮城県	83.4	99.6	95.6	64.6	86.3
2	国	北海道大学	北海道	75.3	97.4	94.8	67.4	83.4
3	公	国際教養大学	秋田県	47.3	99.8	70.6	100.0	76.1
4	公	会津大学	福島県	64.8	87.0	–	72.4	63.1
5	国	山形大学	山形県	57.4	87.5	58.6	–	60.5
6	国	秋田大学	秋田県	58.6	59.8	65.0	48.0	58.1
7	国	岩手大学	岩手県	52.0	69.9	57.6	–	54.4
8	公	秋田県立大学	秋田県	60.8	62.1	49.9	–	52.3
=9	公	公立はこだて未来大学	北海道	49.5	60.4	40.8	44.6	48.6-49.9
=9	国	小樽商科大学	北海道	–	82.0	–	51.6	48.6-49.9
=11	国	福島大学	福島県	43.4	67.5	37.8	–	45.4-48.2
=11	国	室蘭工業大学	北海道	46.1	49.8	46.2	–	45.4-48.2
13	私	東北学院大学	宮城県	–	70.0	49.9	–	44.6-45.3
=14	公	福島県立医科大学	福島県	75.8	–	–	–	41.5-42.5
=14	公	札幌医科大学	北海道	78.6	–	–	–	41.5-42.5

北関東・甲信越
茨城県／栃木県／群馬県／新潟県／山梨県／長野県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	筑波大学	茨城県	75.0	98.6	88.1	60.0	80.8
2	国	長岡技術科学大学	新潟県	58.5	82.2	62.9	73.3	68.5
3	国	新潟大学	新潟県	51.9	83.8	61.6	39.8	59.7
4	国	信州大学	長野県	59.2	74.0	59.8	–	59.1
5	国	群馬大学	群馬県	62.1	63.0	59.3	–	56.2
6	国	宇都宮大学	栃木県	45.7	73.9	61.2	42.6	55.5
7	国	茨城大学	茨城県	47.0	76.0	60.2	–	54.9
8	国	山梨大学	山梨県	58.0	–	49.0	–	44.6-45.3
9	公	新潟県立大学	新潟県	–	53.8	–	65.1	42.6-44.5
10	私	国際医療福祉大学	栃木県	41.6	62.6	–	–	41.5-42.5

首都圏
埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	東京大学	東京都	85.4	99.7	98.9	65.0	87.7
2	国	東京工業大学	東京都	77.6	98.1	94.7	74.1	85.6
3	私	慶應義塾大学	東京都	59.7	99.1	97.2	61.0	77.7
4	私	早稲田大学	東京都	53.6	99.2	93.8	73.6	77.5
5	国	一橋大学	東京都	51.9	96.6	89.1	73.2	75.2
6	私	上智大学	東京都	46.0	97.7	69.4	90.9	73.1
7	私	国際基督教大学	東京都	52.0	98.1	44.4	96.8	71.4
8	国	東京外国語大学	東京都	45.4	93.9	64.3	91.5	71.0

北陸・東海
富山県／石川県／福井県／岐阜県／静岡県／愛知県／三重県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	名古屋大学	愛知県	72.3	97.7	95.6	67.4	82.6
2	国	金沢大学	石川県	66.6	89.8	59.9	59.3	69.8
3	国	豊橋技術科学大学	愛知県	65.6	59.6	59.4	64.5	62.6
4	国	福井大学	福井県	62.9	65.5	52.8	47.9	58.6
5	国	名古屋工業大学	愛知県	61.8	61.3	64.8	39.8	57.9
6	私	南山大学	愛知県	–	86.8	52.6	62.7	57.7
7	私	豊田工業大学	愛知県	76.7	–	–	51.0	55.4
8	国	静岡大学	静岡県	51.4	67.9	57.9	40.6	54.8
9	公	名古屋市立大学	愛知県	67.6	–	61.4	–	53.5
10	国	富山大学	富山県	57.1	67.0	45.7	–	53.4
11	公	静岡県立大学	静岡県	57.7	67.5	36.5	–	52.2
12	私	金沢工業大学	石川県	–	89.8	60.8	–	51.7
13	国	岐阜大学	岐阜県	60.7	47.8	47.6	41.6	50.9
=14	公	愛知県立大学	愛知県	42.7	62.6	39.8	56.7	50.1
=14	私	名古屋外国語大学	愛知県	–	60.6	38.4	84.5	50.1
=16	私	名城大学	愛知県	–	66.5	48.2	–	45.4-48.2
=16	国	三重大学	三重県	53.1	–	51.4	39.9	45.4-48.2
=16	私	名古屋商科大学	愛知県	–	73.3	–	85.7	45.4-48.2
=16	公	富山県立大学	富山県	53.4	57.2	48.4	–	45.4-48.2
20	私	愛知大学	愛知県	–	71.4	–	58.0	44.6-45.3
=21	私	中京大学	愛知県	–	57.6	46.1	42.5	42.6-44.5
=21	公	福井県立大学	福井県	47.7	–	57.8	–	42.6-44.5
23	国	浜松医科大学	静岡県	81.2	–	–	–	41.5-42.5

近畿
滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	京都大学	京都府	84.7	99.6	98.6	66.3	87.7
2	国	大阪大学	大阪府	77.9	98.5	95.4	49.8	81.1
3	国	神戸大学	兵庫県	64.2	92.9	69.3	54.4	70.7
4	私	立命館大学	京都府	47.1	96.0	66.9	68.5	68.1
5	私	同志社大学	京都府	43.1	96.3	64.9	64.0	65.5
6	私	関西学院大学	兵庫県	42.4	94.1	60.8	65.1	64.1
7	国	京都工芸繊維大学	京都府	59.7	62.2	63.1	63.8	61.8
8	公	大阪市立大学	大阪府	64.9	65.0	64.8	45.8	61.1
9	私	関西大学	大阪府	47.8	87.9	61.3	48.1	61.0
10	私	近畿大学	大阪府	43.5	93.2	57.4	49.2	60.3
11	公	大阪府立大学	大阪府	65.0	52.4	68.3	–	56.1
12	私	関西外国語大学	大阪府	–	79.7	54.8	66.6	54.1
13	公	神戸市外国語大学	兵庫県	–	65.7	–	83.3	52.8
14	私	龍谷大学	京都府	–	83.6	47.4	41.4	52.2
15	私	京都外国語大学	京都府	–	58.0	42.4	90.1	51.8
16	私	甲南大学	兵庫県	–	65.6	64.8	40.6	51.6
17	私	京都産業大学	京都府	–	71.2	53.0	50.7	51.2
18	公	兵庫県立大学	兵庫県	54.6	51.4	48.6	–	48.6-49.9
19	私	同志社女子大学	京都府	–	60.7	–	57.7	42.6-44.5
=20	国	滋賀大学	滋賀県	–	46.4	47.5	40.0	41.5-42.5
=20	国	滋賀医科大学	滋賀県	79.7	–	–	–	41.5-42.5

首都圏
埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
9	国	千葉大学	千葉県	63.5	93.9	72.0	50.7	70.5
10	国	横浜国立大学	神奈川県	53.3	84.5	72.9	57.3	66.1
11	私	立教大学	東京都	40.7	96.2	60.9	73.9	65.8
12	国	東京農工大学	東京都	67.7	66.8	69.6	52.4	64.8
13	私	東京理科大学	東京都	55.5	94.4	73.2	–	64.6
14	国	お茶の水女子大学	東京都	63.7	81.2	45.1	59.9	63.8
15	私	神田外語大学	千葉県	–	92.2	55.4	76.0	63.5
16	私	明治大学	東京都	42.5	97.7	64.1	51.1	62.9
17	公	首都大学東京	東京都	59.6	81.1	65.3	41.9	62.8
18	国	東京医科歯科大学	東京都	82.5	54.0	–	72.7	62.2
19	国	東京海洋大学	東京都	62.2	70.4	59.0	53.0	61.9
20	公	横浜市立大学	神奈川県	67.5	60.9	58.4	51.3	60.7
21	私	芝浦工業大学	東京都	52.1	82.0	55.4	51.6	60.4
22	私	青山学院大学	東京都	41.7	93.2	57.8	48.9	59.8
23	私	中央大学	東京都	46.4	87.3	62.0	43.9	59.7
24	私	法政大学	東京都	–	92.4	60.0	50.9	59.3
=25	国	電気通信大学	東京都	56.5	64.9	63.1	49.9	58.7
=25	私	津田塾大学	東京都	42.3	86.8	45.8	62.8	58.7
27	私	学習院大学	東京都	47.0	78.1	56.2	47.6	57.0
28	私	東洋大学	東京都	–	91.6	49.6	60.2	55.9
29	国	埼玉大学	埼玉県	49.3	67.5	54.0	51.1	55.3
30	私	明治学院大学	東京都	–	82.4	55.3	55.2	54.3
31	私	日本大学	東京都	–	89.8	51.1	–	53.1
32	私	成蹊大学	東京都	45.4	71.8	55.6	–	52.4
33	私	獨協大学	埼玉県	–	78.3	54.4	54.5	52.3
34	私	武蔵大学	東京都	–	83.2	57.2	40.6	52.2
35	私	東京農業大学	東京都	43.9	74.7	55.0	–	51.6
36	私	東京女子大学	東京都	–	69.6	51.2	49.4	50.6
=37	私	順天堂大学	東京都	69.2	49.7	–	–	48.6-49.9
=37	私	東海大学	神奈川県	41.1	65.2	53.0	–	48.6-49.9
=39	私	神奈川大学	神奈川県	–	74.8	48.2	39.7	45.4-48.2
=39	私	北里大学	神奈川県	57.9	–	62.7	–	45.4-48.2
=41	私	桜美林大学	東京都	–	71.7	–	60.9	44.6-45.3
=41	私	麗澤大学	千葉県	–	–	47.2	80.6	44.6-45.3
=41	私	専修大学	東京都	–	71.8	52.3	–	44.6-45.3
=41	私	創価大学	東京都	–	–	57.4	73.3	44.6-45.3
=41	私	玉川大学	東京都	–	57.6	49.6	–	44.6-45.3
=41	私	東京電機大学	東京都	–	58.9	55.4	–	44.6-45.3
=47	私	千葉工業大学	千葉県	–	67.6	46.6	–	42.6-44.5
=47	私	工学院大学	東京都	50.5	–	52.6	–	42.6-44.5
=47	私	昭和大学	東京都	64.6	–	57.5	–	42.6-44.5
=47	私	昭和女子大学	東京都	–	59.0	–	56.9	42.6-44.5
=51	私	日本女子大学	東京都	44.0	–	46.9	–	41.5-42.5
=51	私	駒澤大学	東京都	–	64.8	52.3	–	41.5-42.5
=51	私	東邦大学	東京都	60.5	–	43.9	–	41.5-42.5

中国・四国
広島県／鳥取県／香川県／島根県／愛媛県／山口県／岡山県／徳島県／高知県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	広島大学	広島県	67.6	97.1	76.6	60.6	75.7
2	国	岡山大学	岡山県	63.7	91.2	64.4	–	66.1
3	国	山口大学	山口県	55.8	81.6	58.6	51.4	62.2
4	国	鳥取大学	鳥取県	60.5	54.4	59.1	–	54.1
5	国	愛媛大学	愛媛県	55.7	61.8	49.7	42.5	53.4
6	公	高知工科大学	高知県	52.6	69.7	36.5	45.7	52.4
7	国	香川大学	香川県	57.1	55.0	52.4	–	51.9
=8	国	高知大学	高知県	57.5	56.5	39.3	–	48.6-49.9
=8	国	徳島大学	徳島県	62.3	46.7	49.3	–	48.6-49.9
10	国	島根大学	島根県	54.0	49.2	46.4	–	45.4-48.2
=11	公	広島市立大学	広島県	48.7	–	–	41.0	41.5-42.5
=11	公	県立広島大学	広島県	50.1	–	38.0	42.6	41.5-42.5

九州・沖縄
福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

順位	区分	教育機関	都道府県	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment	総合 Overall
1	国	九州大学	福岡県	74.8	98.4	97.7	72.2	85.0
2	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	–	94.9	54.6	98.9	68.5
3	国	九州工業大学	福岡県	57.7	88.0	64.7	54.6	66.3
4	国	熊本大学	熊本県	64.0	83.5	49.2	47.2	62.8
5	国	長崎大学	長崎県	57.0	80.6	56.7	47.2	61.1
6	公	福岡女子大学	福岡県	52.6	74.8	–	77.3	56.6
7	国	佐賀大学	佐賀県	59.6	66.4	54.6	39.9	56.4
8	国	鹿児島大学	鹿児島県	56.2	61.6	63.0	–	55.4
9	国	宮崎大学	宮崎県	56.2	46.7	51.4	59.9	53.5
10	公	北九州市立大学	福岡県	–	84.2	48.0	44.2	53.2
11	国	琉球大学	沖縄県	51.1	51.2	57.0	40.4	50.2
=12	私	福岡大学	福岡県	–	75.0	46.6	–	48.6-49.9
=12	私	西南学院大学	福岡県	–	83.9	–	52.8	48.6-49.9
14	国	大分大学	大分県	56.8	–	47.4	–	45.4-48.2
15	私	福岡工業大学	福岡県	–	70.6	–	–	44.6-45.3
=16	私	宮崎国際大学	宮崎県	42.3	48.1	–	82.4	42.6-44.5
=16	公	長崎県立大学	長崎県	–	63.2	–	50.4	42.6-44.5